

第七十三回 帝國議會
衆議院 恩給金庫法案外一件委員會議錄(速記)第十二回

付託議案
恩給金庫法案(政府提出)
庶民金庫法案(政府提出)
無盡業法中改正法律案(政府提出)

(一一一)

昭和十三年三月八日(火曜日)午前十時三十
六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 前田房之助君

理事最上 政三君理事小笠原八十美君

理事坂東幸太郎君 理事江藤源九郎君

理事森 幸太郎君

高橋 義次君 清水徳太郎君

川合 直次君 松田 正一君

曾和 義式君 馬岡 次郎君

池田七郎 兵衛君 田中源三郎君

小高長三郎君 倉成庄八郎君

松本治一郎君 塚本 重藏君

三浦 虎雄君

同日委員田中源君及今井新造君辭任ニ付其

ノ補闕トシテ田中源三郎君及田川大吉郎君

ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長 高木 三郎君

法制局長官 船田 中君

内務政務次官 勝田 永吉君

會議

大藏省銀行局長 入間野武雄君

厚生省社會局長 山崎 巖君

恩給金庫法案(政府提出)

恩給法中改正法律案(政府提出)

庶民金庫法案(政府提出)

無盡業法中改正法律案(政府提出)

前田委員長 是ヨリ開會致シマス、曾和

義式君

○曾和委員 私ハ昨日請暇致シマシテ出席

スルコトガ出來マセヌデシタノデ、時ニハ

重複スルコトガアルカモ知レマセヌガ、重複シタラ重複スルカラト云フコトデ御答辯

ハ結構デス、最初ニ御伺シタイノハ、本法ノ制定ニ依リマシテ、此種ノ金庫ガ設置サ

レルト云フコトニ付キマシテハ、根本方針

ト致シマシテハ、私共ハ非常ナ贊意ヲ表ス

ル者デアリマス、所ガ今日迄ノ此種ノ貸付

ノ状況ヲ見マスルト、甚ダドウモ成績ガ良

クナイノデアリマス、例ヘバ大阪府ニ於キ

マシテモ府ノ施設トシテ既ニ數年前カラ實

施致シテ居ルノデアリマスガ、ドウモ思フ

ヤウニ成績ガ舉ッテ居ナイノデアリマス、ソ

モ無ク、金ヲ借リヨウニモ擔保力ガ不足シ

レハドウ云フ譯デアルカト云フト、即チ本
金庫ノ目標トスル所ハ、外ノ金融機關ガ相
手ニシテ異ナイ階級ノ人ト云フコトニナ
ルダラウト思フ、更ニ之ヲ切詰メマスルト、
財的ニ信用ノ薄イ、更ニ極端ニ言フト、殆ド
信用ノ無イ人ト云フコトニナルノデアリマ
ス、サウデナケレバ特別ニ本基金庫ヲ設定ス
ル必要ハナイト思フノデアリマス、ソコデ
本法案ノ提出ノ理由等ハ詳細御説明ニナツ
タコトト思ヒマスガ、本當ニ打割ツ所ヲ、
ドウ云フ階級ヲ目當トシテ實際ニ運用ナサツ
テ行クノデアラウカト云フコトニ私ハ疑問
ヲ持ツノデアリマス、中小產業ノ助長ト云
フコトニ目標ヲ置クノカ、或ハ生活安定ト
云フコトヲ目標ニ置クノカ、其點ニ付テノ
ルト存ジマス

○曾和委員 只今ノ御答辯ハ私ハ大體ニ於
テ左様ナ考ダト思ヒマス、ソコデ此無擔保
ノ貸付デアリマスガ、無擔保ダカラト云ウ
テ、私ハ全部回収不能ダトハ考ヘマセヌ、
隨テ相當危險率ヲ見込マナケレバナラスト
思フノデアリマス、隨テ實際ノ運用ニ當リ

マシテ、貸付ノ實際問題デアリマスガ、今
政府委員カラ述ベラレタヤウナ目的デアル
ト云フト、私ハ申込者ニ對シテハ總デニ貸
付ナケレバナラヌト思フノデアリマス、詰
リ要求サレタ場合ニ、若シ其一部デモ要求

ガ容レラナイト云フコトニナルナラバ、

若シイヤソレハサウ云フ譯ヂヤナイノダ、
申込ンデ來タカラト云ウテ全部貸ス譯デハ
ナイ、ヤハリソコニハ或ル標準ガアルトカ、
或ハ或ル根據ニ依ツテ時ニ貸サナイト云フ
場合モアルノダト云フコトニナルト云フト、
實際ノ運用ト云フモノハ中々難カシイモノ
ダト思ヒマス、ダカラシテサウ云フ點ニ付
テノ本金庫ヲ發案セラレタ方々ノ御意向ト
云フモノヲ、ハッキリ國民ニモ知ラサナケレ
バナラヌト思ヒマスガ、其點ハ如何デゴザ
イマセウ

○入間野政府委員 先程申述べマシタ如ク、
無擔保貸付ヲ主眼トシテ居リマス、ガ併ナ
ガラ昨日來申上ゲマシタ如ク、本金庫ハ慈
善團體デハアリマセヌ、隨ヒマシテ本金庫
ハ其資本金マデモ失フヤウナコトガアルト
ハ考ヘテ居リマセヌ、無擔保貸付ハ其借手
ガ償還能力ガアリ、且ツ返済ニ關スル理念
ニ燃エテ居ルト云フコトが必要デアラウト
存ジマス、隨ヒマシテ無擔保貸付デアリマ
リマシテ、相當回収不能ノモノモアルカモ
スルカラ、危險率モ其間ニ見ナクチヤナリ
マセヌ、擔保ニ依ツテ貸付ケルモノト異ナ
知レマセヌノデ、大體四分見當ノ回収危險
率ヲ見込ンデ居リマスルガ、ソレ以上

ノ回収不能ニナルトハ只今ノ所考ヘテ居リ
マセヌ、隨ヒマシテ借入申込ガアリマシタ
カラト申シマシテ、全部ガ全部何等調査モ
セズシテ貸スノデハアリマセヌデ、此金
庫ガ慈善團デナイト云フ點ニ鑑ミマシテ、
適當ノ調査ヲシテ、償還能力アル者ニ貸付
ケル、斯ウ云フコトニ致シタイト存ジマス
○曾和委員 只今ノ御説明ノ四分ト云フノ
ハ四%ダト思ヒマスガ、四%程度ノ回収不
能ノ見込デ、ソレヲ大體標準トシテヤラレ
ルト云フコトニナリマスト、實際其衝ニ當ツ
テ金ヲ扱ハレル人ハ、上ノ人ノ考ヘテ居ル
以上ニ堅ク行クノヂヤナカラウカト私ハ思
フ、サウナリマスルト、回収ノ出來得ナイ
ト云フ憂ハ比較的少クナル代リニ、本金庫
運用上ニ於テ效果ヲ發揮スルト云フコトガ
餘程困難ダト思フノデアリマス、資金ヲ漸
次喰込ムト云フヤウナコトモ成程ソレハ注
意シナケレバナラヌコトダト思ヒマス、又
慈善事業ヂヤナイト云フ御心持モ私共ハ能
ク諒解出來マス、出來マスガソレガ四%位
ノ回収不能ノ率ダト云フコトニナルラ
バ、實際ソレヲ運用シテ、金ヲ借り得ラレ
ル人ハ或ハ少クナリハシナイカラ私ハ惧レ
マス、現在大阪府ガヤッテ居ル小口資金ナド
ハ非常ニ條件ガ難シイモノダカラシテ、サ

ウ云フ施設ガアルニ拘ラズ、一般需要家ニ於テ甚ダ不満ニ感ジテ居ル、ダカラ私ハ折角之ヲ施設シテ貰ヒマスル以上ハ、放漫ナル貸付ハイケマセヌガ、或ハ十分調査ヲシ、只今仰シヤルヤウニ、返還能力ガアリ、且ツ追済スベキ意念ト云フモノモ旺ンデアルト云フコトモ勿論調査シテ戴カナケレバナリマセヌ、ソコハ餘程抽象的ノ問題ニナッテ來マスノデ、唯問題トシテハ、ソコデ少シ手控スルカ、寧ロソコノ所デ思ヒ切ツテ貸付ケルカト云フ境デアリマスガ、サウ云フ場合ハ私ハ努メテ貸シテヤツテ貰ヒタイト思ヒマスガ、其點ニ對シテハドウ云フ御方針デアリマスカ

考ヘテ居リマス、ソレニ四分ノ危険率ヲ見
スウ云フ心組デ只今居ルノデアリマス、所
ガ昨日來其八分ハ高キニ失スルノデハナイ
カト云フ御議論ガ非常ニ澤山アリマスルノ
デ、一方ニ於テ危険率ヲ高クシテドンヽ
貸出シテヤルト云フコトモ望マシイコトデ
アリマスケレドモ、又一方ニ於テハ危険率
ヲ多クスルガ爲ニ金利ヲ高クスル、隨ヒマ
シテ折角庶民階級ノ產業資金ヲ得サセルト
カ、或ハ生計資金ヲ得サセルノニ、ソレデ
ハ目的ヲ達シナイト云フ此兩面カラ見テ非
常ニ困難ナ點ガ存スルノデアリマス、隨ヒ
マシテ此金庫ニ於キマシテハ、是等ノ點ヲ
調和シテ、大體八分デ貸シテ、危険率ヲ四
分見ルト云フコトニ致シタノデアリマス、
勿論只今マダノ庶民金融機關ノヤリ口ヲ見
マスルト、必シモサウ大膽ニハ貸シテ居ナ
イヤウデアリマス、勿論銀行ニ致シマシテ
モ、無盡會社ニ致シマシテモ、市街地信用
組合ニ致シマシテモ、ソレヽ或ハ掛金
者ガアルト云フ風デ、一般民衆ノ資金ヲ
背景トシテ居リマスル關係上、サウ十分
大膽ナ貸付ハ出來得ナイコトハ明カデア
リマス、ガ併ナガラ此金庫ニ於キマシテ

今マデノヤリ方ヨリハ少シ突進ンデ大膽ニヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ、只今ノ御尋ノ如ク、思切ッタ貸付モ多少出來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、而シテソレガ爲ニ四分ノ危険率ヲ見テ居ルノデアリマスガ、要スルニ是ハ其人ヲ得ナケレバナラスト私考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ庶民金庫ノ此職員、若クハ上級ノ職員ニ付キマシテハ、庶民金融ニ關スル抱負ト經綸トヲ有シ、且ツ力量手腕ノアル人ヲ得テ、此大膽ナ貸付ト庶民金庫ガ將來立行クト云フ此兩方面ノ調和ヲ宜シクヤツテ行カナケレバナラヌノデハナイカト、斯ウ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ或點ニ於テハ御期待ニ副ヒ得ルト申シマスカ、出來ルダケ今日マデヨリモ大膽ナル貸付ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ心持デ居ルノデアリマスカラ、御期待ニ副ヒ得ルノデハナイカト、斯ウ信ジテ居リマス

民金庫債券デスネ、サウ云フモノノ借入金
ノ償却ダト、斯ウ私ハ思フノデアリマスガ、
此支出ノ方デ、今申サレマスヤウニ、相當
ノ危険率ヲ見、而モ成タケ低利ニシテ、而モ
庶民金庫ガ立チ行クヤウニト云フコトニ
ナリマスルナラバ、出來ルダケ此業務費ト
云フモノヲ削減シナケレバナラヌ、斯ウ云
フコトニナッテ居リマス、ソユデ私ノ考ヘ
マスル所デハ、八分ノ利息ト云フコトニナ
リマスト、ドウモ是ハ他ノ人モ言ハレタノ
デアリマスガ、高イト思ヒマス、併ナガラ
一般世間ノ普通ノ金融ヲ見マスレバ、斯ウ
云フ八分デ進行スルト致シマシテ、八分モ
利息ヲ取ルナラバ、モウ少シ危険率ヲ見テ
モ宜ノデハナイカト、私ハ斯ウ考ヘマス、
殊ニ今申シマシタ支出ノ方ノ諸銷却準備金
緑入ニアリマスガ、是ナドハ、私ハ第一年
度第二年度ナドハ銷却ト云フヨリモ、寧ロ
將來ノ積立金トスペキモノデハナイカト思
ヒマス、此一年度二年度ニ於テ果シテ銷却
スペキ如何ナルモノガアルカト云フコトヲ
申シマシタ業務費トノ關係ニアリマスガ、
總額ガ此處ニ現ハレテ居リマスガ、其中デ
報酬モ總額ノ中ニ出テ居リマスガ、報酬ノ
大體一人當リト申シマスルカ、額ヘドレ位

ニ見テ居ルカ、又給料ノコトデスガ、給料ト申シマシテモ、從業員ニハ色々段階ガアリマセウガ、大體ニ於テ相當ナ所ノ給料ハドレ位ニ見テ居ルカ、或ハ又ソレ以下ノ所デドレ位ノ程度ノ給料ヲ豫想シテ居ルノデアリマスカ、更ニ賞與等ハ一人當リドレ位ノ豫想デアルカ、サウ云フコトヲ伺ヒタインデアリマス

○入間野政府委員 只今御質問ノ支出ノ所ノ支拂利息ニ付キマシテハ、是ハ庶民債券ノ利子ヲ見込ンデ居リマス、隨ヒマシテ先程申述べマシタ如ク、大體四分デ借入レタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、其利息ヲ計上シテアリマス、ソレカラ次ノ諸銷却準備金繰入デゴザイマスガ、是ハ先程申述べマシタ四分ノ危険率ガ其中ニ入ッテ居リマス、是ハ積立金デハアリマセヌデ、寧ロ是デ以テ回収上ノ不能ヲ銷却シテ行キタイト云フ積リデ、此計算ガ出來テ居リマス、尙ホ業務費ノ内譯ニ付キマシテハ、昨日初年度カラ第4年度マデノ計算シマシタモノヲ御手許ニ差上げテ居ル筈デアリマス、報酬トシテ四年目ニ六万五千圓、給料手當及ビ賞與トシテ四十三万四千百圓、ソレカラ諸費トシテ二十一万四千圓、合セテ七十ー万四千圓、丁度業務費ノ四年目ノ所ニアリマスノト、

合致シテ居リマス、報酬ハ御承知ノ通り
役員理事長以下ニ對スル報酬デアリマシ、
給與手當ハ從業員ノ給與手當デアリマス、
其中ニ書イテアリマス賞與モ、是ハ役員ノ
賞與ハ含ンデ居リマセヌデ、役員デナイ使
用者ノ賞與ヲ其中ニ籠メテアリマス、人數
等ニ付キマシテモ大體職員ハ三百三十人餘
リ四年目位ニハ出來ルノデハナカラウカトナ
考ヘテ居リマス、役員ハ理事長以下六人ト
云フ數ニナツテ居リマス

コトヲ協議ガ纏ツテ、話ガ付キマシテモ、一般ノ金融機關ハ中々是ハヤラナイ、ソレハ何故ヤラナイカト云フト、決シテ單純ニアルモノ、回収ノ見込ガ十分ニモ十二分ニモアルト云フモノナラバ借スケレドモ、此金庫ノ目的デアル所ノ信用ガ、ドウモ實際的ニハドウカト思ハレル、假令返還能力ガアリトシ、或ハ返済ノ意思アリトシテモ、サウ云フ人間ノミニ貸シテ居ルナラバ、ドウモ此金庫ノ目的ハ達セラレヌト思フ、中ニハ時ニ依リマスト、チット怪シイト思フモノ迄ニ貸サナケレバナラヌ、サウシナケレバ此金庫ノ精神ノ徹底ガセヌト思フ、サウシマスト、一般金融機關ナドハドウモ突進ンダル貸付ハシナインデアリマス、何故シナイカト云フト、大體言ヒマスト、ソレハ成程一方ニ於テ府ナリ政府ガ損失補償ヲシテ吳レレバ宜イガ、併シアノ金庫ガ貸シタモノハ回収不能ガチヨイヽアルト云フナラバ、一般世間ガ、斯ウ云フ風ナ特殊ノ金融事業デアルト云フコトヲ考ヘズニ、金庫ノ基礎ニ對シテ疑惑ヲ生ズル、斯ウ云フ意味デ中々一般ノ金融機關ガ之ヲ實際運用上進ンデヤツテ吳レナイ、何トカカントカ文句ヲ付ケテ貸サナイヤウニスルノデアリマス

ガ、ソレニ對スル所ノ政府ノ心構ヘト、竝ニサウ云フ機關ニ對スル損失補償ノ程度御方針ニ付テ承リタイ
○入間野政府委員 初メニ仰セラレマシタ
役員報酬ノコトデゴザイマスルガ、先程來申上ゲマスル通り、此事業ハ中々ムヅカシイ事業デアリマシテ、隨ヒマシテ餘程有能ナ人ヲ得ナケレバ此目的ヲ達セラレナイト思ヒマス、初メ事業ノ尙ホ發達セザル中ニ多額ノ報酬ヲ出スト云フコトハイカヌト云フ御説ニハ私モ全ク同感デアリマス、併ナガラ只今申述ベマシタヤウナ事情ニ依リマシテ、良イ人ヲ得ヨウト致シマスレバ、勢ヒ報酬モ出サナケレバナラヌト云フヤウナ立前デアリマスルノデ、初年度カラ六万五千圓ヲ計上致シテ居リマスヤウナ次第デアリマス

尙ホ損失補償ノ問題デアリマスルガ、損失補償ニ付キマシテハ金融機關ガ此金庫ト同様ノ貸付ヲ致シマシタ場合ニ於キマシテ、其貸付金額ノ半額ヲ限度トシテ損失補償ヲ致サウト存ジテ居リマス、而シテ其限度以内デアリマシテモ、サウ損失額ノ範圍ヲ越エサセナイト云フ積リデ考ヘテ居リマス、尙ホ又金融機關ガ損失補償ガアツテモ、自分ノ所デ損失ヲ來シテ補償ヲ受ケタト云フヤ

ウナコトヲ考ヘルガ爲ニ、宜ク行カナイノ
共モ時々サウ云フコトヲ耳ニ致シテ居リマ
デハナイカト云フ御説ニ付キマシテハ、私
對シテ十分諒解ヲ得テ貸出ヲ良クシ、一般
ミマシテ、政府ト致シマシテモ金融機關ニ
庶民階級ノ生活向上ノ爲ニ幾ラカデモ資シ
テ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○會和委員 イマ一點ダケ御伺致シマス、
ソレハ此法案ヲ見マスト、此金庫ハ主トシ
テ都市方面ニ重キヲ置イテ居ルヤウニ見エ
ルノデアリマス、ト云フノハ、代行サセル
ノモ主トシテ市街地信用組合ヲ指シテ居ラ
ル、ヤウニ信ズルノデアリマス、勿論農村
ニハ産業組合ガアリ、或ハ色々相互機關ガ
アリマス、アリマスケレドモ、其實際ノ運
用上極ク零碎ナ百圓トカ二百圓位ノ金ヲ貸
スニシマシテモ、中々組合ノ規約ナドガアッ
テ貸サナイノデアリマス、併シ一方返済ス
ルト云フ意氣込ナリ、實際問題カラ致シマ
スト、田舎ノ人間ノ方ガ先づ危険ガ少イ、
地道デアル、サウ云フ人間ヲ救フト云フ意
味ニモ、大ニ農村ノ方ニ此金庫ノ運用ヲ擴
張シテヤツテ戴ケルコトガ出來ルノデアラ
ウカ、ドウ云フ御意同デアラウカ、伺ヒタ

○入間野政府委員 庶民金庫ノ目的ト致シ
テ居リマス所ハ、敢テ都市ニ限局スル考ハア
リマセヌ、勿論農村ニモ及ボシタイト考ヘ
テ居リマス、即チ其對象ト致シマスル所ノ
者ハ、先程モ申上ガマシタ如ク、資産收入
等モ餘リナク、隨テ擔保ニ持ツテ行ク物モ
少イト云フ方々デアリマス、併ナガラ償還
能力アリ、借入レタモノハ返シタイト云フ
理念ヲ持ツテ居ル者デアリマスレバ、其居リ
マス所ガ都市デアラウガ、農村デアラウガ、
總テ之ニ推シ及ボシテ行キタイト考ヘルノ
デアリマス、唯農村ニ於キマシテハ只今モ
仰セニナリマシタ通り、信用組合ニ加入シ
テ居ル者モ、都市ナドニ較ペルト其割合ガ
非常ニ多イノデアリマス、隨ヒマシテ此方
面カラノ金融モ相當アリ、土地購入資金ノ
如キ長期資金ヲ必要トスルモノニ付キマシ
テハ、此金庫ノ貸付期限ノ點カラシテ此金
庫カラノ貸付ハ困難デアリマス、斯ノ如キ
モノハ土地ヲ擔保ニシテ不動産銀行ナリカ
ラ借リル所ノ途ガアリ、又肥料資金ノ如キ
モノニ付キマシテハ、年々預金部カラ銀行
又ハ産業組合ヲ通シテ、此金庫ヨリモ寧ロ
安イ金利デ融通ヲ受ケルコトガ出來マスル
カラ、此金庫ヲ利用致シマスル場合ハ少力
ラウト考ヘルノデアリマス、併ナガラ農村

ニ於ケル金融ハ、御説ノ如ク餘リ潤澤デア
ルトモ申サレマセヌカラ、此金庫ノ目的ニ
合致スルモノニアリマスルナラバ、銀行カ
ラ借リルコトモ出來ズ、又産業組合等カラ
借リルコトモ出來ナイ所ノ人々ニ對シテ、
此金庫カラ融通スルコトニ付キマシテハ、
何等躊躇致スモノデハアリマセヌ、然ラバ
此金庫ノ代理事務ヲ市街地信用組合ニ限局
シテ農村ノ信用組合ニ推シ及ボシテナイノ
ハ、ヤハリ農村ヲ閑却スルノデハナイカト
云フヤウナ御説モアリマシタガ、此法律ニ
於キマシテ代理貸付ヲ認メテ居リマスル
銀行、無盡會社、市街地信用組合ノ現狀ヲ
見マスルト、只今我國ニ於キマシテ銀行ノ
數ガ約四百六十、其支店ノ數ガ約四千二百
有餘、又無盡會社ハ其數ガ約二百四十七、
其支店ノ數ガ約二百十二、又市街地信用組
合ニ付キマシテモ其主タル事務所ノ數ガ約
二百七十四ニ及ンデ居リマシテ、其外ニ從
タル事務所ガアリマスルカラ、是等代行機
關ノ營業所ト云フモノハ、約五千五百位ア
ルダラウト考ヘテ居リマス、隨ヒマンシテ是
等ノモノヲ適當ニ排列シテ適當ニ利用シテ
行キマシタナラバ、相當部分ノ所マデ此代
理貸付ガ浸潤シ、敢テ農村ニサウ不便ナコ
トハナカラウカト考ヘテ居リマス、隨ヒマ

シテ只今述べマシタヤウナ金融機關ノ代行
ニ依リマシテ、農村ニ對シマシテモ金融ノ途
ヲ付ケテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス
○會和委員 私ノ質問ハ是デ一應終了致シ
マシタ

○前田委員長 御諸リ致シマス、議事ノ進
行上無盡業法中改正法律案ニ對スル審議モ
此際行フコトニ致シタイト思ヒマスガ、御
異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○前田委員長 ソレデハ左様ニ取計ヒマ
ス——塙本君、厚生省ノ政府委員ハ見エテ居
リマスガ、マダ内務省ノ政府委員ハ見エマ
セヌ、間モナク見エルト思ヒマスガ……

○塙本委員 ソレデハ厚生省ノ部分ダケデ
モ質問シタイト思ヒマス、折角御見エニナッ
タノデスカラ……

○前田委員長 ソレデハ塙本重藏君
○塙本委員 私ガ厚生省ノ政府委員ニ御尋
致シタイノハ、公益質屋ノコトニ關シテデ
アリマス、本法案ハ言フ迄モナク庶民金融
ノ問題ニ付テ新シイツノ試ミラシヨウト
シテ居ルノデアリマスガ、之ニ關シテ廣ク
本サンカラノ御尋ニ御答ヲ致シマス、庶民
金融ノ機關ト致シテ公益質屋ガ相當重要ナ
役割ヲナシテ居リマスコトハ、只今ノ御說
ノ通リダト思フノデアリマス、厚生省ト云
シマシテハ、内務省時代カラ此方面ニ相當
出シテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、財政

居ルコトハ、今更ラ呶々要スル迄モナイ
ノデアリマス、隨ヒマシテ公益質屋ノ普及
發達ヲ出來ルダケ助成シテ行キタイト考ヘ
ルノデアリマシテ、其見地カラ一二御尋シ
タイノデアリマス、此處ニ資料トシテ提供
セラレテ居ル物ニ依リマスルト、現在昭和
十二年四月末ノ公益質屋ノ全國總數ハ千百
十六トナツテ居リマス、私營質屋ハ昭和十二
年末ニ於テ一万二千二百三トナツテ居リマ
シテ、私營質屋ニ較ベテ公益質屋ハ尙ホ一
割ニ足ラナイヤウナ現狀デアリマス、此千
百十六ノ公益質屋ハ、六大都市ニドレ位設
置セラレテ居ルノデアルカ、又六大都市ヲ
除イタ他ノ都市ニドレ位設置セラレテ居リ
マスカ、更ニ町ヲ單位ニシテドレ位設置セラ
レテ居ルカ、村ニハドレ位設置セラレテ居
ルカ、是ノ内譯ヲ参考マデニ承知シタイト
思ヒマス

○山崎政府委員 只今公益質屋ニ付テノ塙
ニ植エテ居ルヤウデアリマスガ、ソレニ致
シマシテモ町村方面ニ對シマシテハ、此普
及ガ殆ド徹底シテ居ラナイト言ッテモ過言
デハナイ狀態デアリマス、ソコデ厚生省ハ
内務省カラ事業ヲ引繼ガレテ、厚生省ト云
フ名前ノ下ニ所管セラレルコトニナックノ
デアリマスカラ、一ツ本當ニ更生シタ意味
ニ於キマシテ、公益質屋ノ増設ニ積極的ニ乘
出シテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、財政

上ノ問題云々等ノ御話モアリマシタガ、庶民金庫ヲ設置致シマシテ、一方ニハモウ少シ高イ階級ノ人々ニ 金融施設ヲ行ハウトシテ居ルノデアリマスガ、庶民金庫ガ狙ツテ居リマスル下ノ方ノ階級ニ於キマシテハ、ヤハリ公益質屋或ハ又私營質屋ヲ利用スル以外ニハ、依然トシテ途ガナイト思フノデアリマス、ソレデ愈、以テ公益質屋ト云フモノノ存在價值ガ高マッテ來ルノデアリマス、是ガ對象ニナリマス私營質屋ノ現況カラ考ヘマシテモ、一層私ハ公益質屋ヲ増設シテ戴カナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデアリマス、私營質屋ノコトニ付テモ御聞キシタイト思ヒマスガ、是ハ不便ナコトニハ未ダ内務省ノ所管ニ残サレテ居ルヤウデアリマスカラ、内務省ノ方ニ御伺シタイト思ヒマス、公益質屋ハ是非モウ少し積極的ニ増設ヲ圖ツテ戴キタイ、豫算ノ上カラ見マシテモ極メテ微力ナル助成金シカ計ナインデアリマス、其増設ノ年度計畫等ヲ見マシテモ遅タル歩ミヲ持ツテ居ルヤウデアリマス、私ハ市町村ガ自發的ニ市町村會ノ決議ヲ以テ、公益質屋ヲ設置スル場合ニハ、厚生省ハ是々ノ資金ヲ貸與ヘル、是々ノ便宜ヲ與ヘルト云フ通り一遍ナコトダ

ケデハ、容易ニ市町村ニ設置スルコトハ不可能ダト思ヒマス、私共ハ嘗テ地方ノ議會ニ於キマシテ、此問題ノ爲ニ相當鬪ツテ參ッタノデアリマスガ、大阪ノヤウナ大都市ニシマスト、期セズシテ私營質屋業者ノ猛烈ナル反對運動ガ起ルノデアリマス、其事ノ爲ニ大阪市ニ於キマシテモ、此ヤウナ公益質屋ノ増設ガ見ラレナイ、大阪ノヤウナ大都市ニ於キマシテモサウデアリマスカラ、況ヤ小サナ町村ニ於テ村會ノ決議ヲ以テ之ヲ經營シヨウト致シマシテモ、直グサマ其部落ニ於ケル相當有力ナ地位ヲ占メテ居リ、政治的ナ力ヲ持テ居リマス金融業者ノ手ニ依ツテソレガ妨ゲラレルト云フヤウナ現狀ニアルコトハ、恐ラク當局ハ能ク御承知ダラウト考ヘルノデアリマス、之ヲシヨウトシテモ、サウ云フ業者ノ反対ニ遇ツテ其國デハ千百四十數箇所ニ相成ツテ居ルノデアリマス、是ガ分布ノ現狀ヲ極ク抽象的ニ申上ゲルト、其數ニ於テハ都市ヨリモ寧ロ農山漁村ノ方ガ多イ現況ニ相成ツテ居リマス、大體ノ數ヲ申上ゲルト、六七割程度ハ鑑ミラレマシテ、モウ少し中央政府ガ積極的ニ乘出シテ行カナケレバナラヌノデハナイコトニ云フヤウナ點ヲ從來カラ研究ヲ續ケテ參ッテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテモ、將來尙ホ積極的ニ是ガ實現ヲ見マスヤウニ努力ヲ續ケタイト考ヘマス

○塚本委員 公益質屋ノコトニ付キマシテモウ一ツ御尋シタインデスガ、只今ノ御答辯ニ依リマシテ、大體今ノ儘デ満足スルコトハ出來ナイ、モット發展セシメナケレバナラスト云フ御意見ノヤウデアリマス、ソレニ付テハ從來ノ獎勵ノ方法トシテハ私ハア

ルヤ否ヤヲ承ツテ置キタイノデアリマス、○山崎政府委員 庶民金庫ト並行致シマシテ公益質屋ノ普及徹底ヲ圖ルノ必要アルコトハ、只今塚本サンノ御話ノ通リデアルト思ヒマス、從來公益質屋ノ普及徹底ノ方策於キマシテモ、是等ノ施設ヲ增設シヨウトシマスト、期セズシテ私營質屋業者ノ猛烈ナル反對運動ガ起ルノデアリマス、其事ノ爲ニ大阪市ニ於キマシテモサウデアリマスカラ、此ヤウナ公益質屋ノ増設ガ見ラレナイ、大阪ノヤウナ大都市ニ於キマシテモ、此ヤウナ公益質屋法ニ依ツテ建設ノ場合二分ノ一ノ補助ヲ與ヘルコト、融通資金ニ對シテ國ノ低利資金ノ貸付ヲ致シマスコトガ獎勵ノ方策ニ相成ツテ居ル譯デアリマス、此獎勵ノ方策ニ依ツテ公益質屋法ガ出來テ以來、今日マデ段々ト普及發達致シテ參ッテ居ルノデアリマシテ、先程モ申シマシタヤウニ、現在全國デハ千百四十數箇所ニ相成ツテ居ルノデアリマス、是ガ分布ノ現狀ヲ極ク抽象的ニ申上ゲルト、其數ニ於テハ都市ヨリモ寧ロ農山漁村ノ方ガ多イ現況ニ相成ツテ居リマス、大體ノ數ヲ申上ゲルト、六七割程度ハ鑑ミラレマシテ、モウ少し中央政府ガ積極的ニ乘出シテ行カナケレバナラヌノデハナイコトニ云フヤウナ點ヲ從來カラ研究ヲ續ケテ參ッテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテモ、將來尙ホ積極的ニ是ガ實現ヲ見マスヤウニ努力ヲ續ケタイト考ヘマス

○塚本委員 公益質屋ノコトニ付キマシテモウ一ツ御尋シタインデスガ、只今ノ御答辯ニ依リマシテ、大體今ノ儘デ満足スルコトハ出來ナイ、モット發展セシメナケレバナラスト云フ御意見ノヤウデアリマス、ソレニ付テハ從來ノ獎勵ノ方法トシテハ私ハア

レデ十分ダト思ヒマス、サウ云フ立派ナ獎勵ノ途ガアリナガラ尙且ツ普及シナイ所ニ、地方々々ノ特別ナル事情ガアッテ妨ゲラレテ居ルト云フ事情ヲ十分ニ御理解ノ上デ此設置ヲ獎勵セラレナケレバ、唯獎勵ノ方法ヘ、用スルコトガ或モノノ爲ニ妨ゲラレテ居ル、其妨ゲテ居ルモノヲ何トカシテ排除シテ積極的ニ進ンデ行クヤウニシナケレバナラヌト思ヒマスカラ、其點大イニ御考慮ニナリマシテ、一段ノ御奮勵ガ願ヒタイノデアリマス、只今ノ御答辯ニ依リマシテ千百四十餘箇所ノ質屋ノ中テ七割程度マデハ町村ニ設置セラレテ居ルモノデアルト致シマシテモ、全國町村數ノ上カラ見マスレバ、尙ホ及バザルコト遠シノ感ガアルノデアリマスカラ、是非是ハ、勿論強制スルト云フコトニハ色々ト支障ガアラウト思ヒマスガ、何等カノ方法ヲ以テ、少ク共町村ニハーツ以上ノ公益質屋ニ付キマシテハ、貸付シメルヤウニ御努力願ヒタイノデアリマス更ニ今ノ公益質屋ニ付キマシテハ、貸付ノ金額ガ一口十圓ヲ限度トシ、一世帶五十圓ヲ限度トセラレテ居ルヤウデアリマス、勿論今日貸付ケラレテ居リマスル一口當リノ金額ハ約五圓程度ト云フコトニ參考資料ヲ

戴イテ居ルノデアリマス、此參考資料ノ結果カラ見マスト、或ハ此限度ヲ以テ十分デアルカトモ考ヘラレマスケレドモ、是ハ一口十圓、一世帶五十圓ト云フ限度ガアル爲ニ、結局現在ニ於テハ一口當リ五圓程度ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、私ハモウ少シ貸付ノ限度ヲ引上げタラドウカ、私營ノ質屋ニ付テハ此制限ガナイノデアリマスガ、公益質屋ニ於キマシテモ、貸付ノ限度ノ制限ヲ撤廢セラレタラドウカ、サウル民衆ノモウ一段高イ方面ニ迄公益質屋ノ利用者ガ殖エテ行クノデハナイカト考ヘルノデアリマス、此一口十圓、一世帶五十圓ト云フ制限ヲ撤廢シテ戴キタイト考ヘマスガ、當局ノ御所見ヲ承リタイ

相當生業資金ノ貸付ハ運用ヲサレテ居ルノ
デアリマス、此運用ニ依リマシテモ或ル程
度ノ緩和ハ出來ルカト考ヘルノデアリマス
ガ、普通ノ貸付ノ場合ノ制限ノ問題ニ付キ
マシテハ、尙ホ將來十分ニ考究ヲ致シタイ
ト考ヘルノデアリマス

金融ノ途ヲ開イテ行ク、斯ウ云フ三方四方
カラ色々ト金融ノ途ヲ改善シテ行カナケレ
バナラヌ、サウ云フ意味ニ於テ私營質屋ニ
付テハ種々改善スベキ點ガアルト思フノデ
アリマスガ、分ケテモ利息ノ高イ點ニ付テ、
之ヲ引下ゲルヤウニ内務省ノ當局ト御協力
ニナリマシテ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデ
アリマスガ、御所見ヲ承ルコトガ出來マス
ルナレバ幸ヒデアリマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○前田委員長 ソレデハ速記ヲヤメテ下サ

〔速記中止〕

トニ闘シテ二三御質問申上ダマス、時間ノ
關係モアリマスノデ極メテ簡潔ニ質問致シ
マシテ御答辯ヲ願フコトニ致シマスガ、今
日私營質屋ガ一般庶民階級ノ金融機關ト致
シマシテ非常ナ地歩ヲ占メテ居ルコトハ言
フ迄モナインデアリマシテ、是ハ東京府下
ニ於キマスル昭和八年ノ六月カラ八月マデ
ノ間ニ東京市ガ調査致シマシタモノニ依リ
マスト、勿論是ハ調査致シマシタ地域ガ零
細民ノ居住地區ト申シマスカ、細民地區ト申
シマスカ、サウ云フ方面ヲ狙ウテ調査ヲ致
シマシタモノデアリマスガ、四百七十四個
所ニ付テ一万五千六百三十四世帯ニ付テ廣
ク調査ヲシタ結果ガ現レテ居リマスガ、ソ
レニ依リマスト、此地域ニ於キマスル是等
庶民階級ノ間デ、私營ノ質屋、詰リ營利ノ
質屋デアリマスガ、私個人ノ營利ノ爲ニ營
ンデ居リマスル質屋カラ金融ヲ受ケテ居リ
マス者ハ「パーセンテージ」ニ致シマシテ六
九・六七%ト云フ風ニ、約七割ト云フモノガ私

レテ居リマス、之ヲ以テシマシテモ、私營質屋ト云フモノガ如何ニ重要ナ役割ヲ持テ居ルカト云フコトガ想像出來ルノデアリマス、ソコデ庶民階級ノ金融ノ問題ヲ考へマス場合ニ於テハ、此私營質屋ト云フモノヲ考慮ノ外ニ置イテハ何事モ出來ナイ云フヤウナ事情ニアルト思ハレルノデアリマス、ソコデ此私營質屋ノ現狀ヲ見マスルト、色々宜クナイ點ガアリマス、利息ノ高イ點ハ言フマデモナイノデアリマスガ、其他色々ナ改善スベキ點ガアラウト思フノデス、ソコデ當局ガ今日ノ私經營ノ質屋ニ對シマシテ、ドウ御考ニナッテ居リマスカト云フコトヲ御伺シタインデアリマス、何モ彼モ一遍ニ申上ゲマシテ、一緒ニ答辯ヲ戴ケレバ簡単デアルト思ヒマスノデ、何モ彼モ一同ト云フ點デアリマス、是ハ十圓以上ヘ利息制限法ニ依ッテ居ルノダラウト思ヒマスカ、十圓以下デハ利息制限法ノ適用ヲ受ケ概々一圓以下ノ質ニ對シテハ、普通ノモノハ月四分デアリマス、サウシマスト年ニ四割八分ト云フ高イ利子ニナル、五圓以下デ割八分ト云フ高イ利子ニナル、五圓以下デ者ニ於キマシテ、公益質屋ニ比べテ不利ナガ普通ノ私營質屋ノ金利ノ状態デアリマス、是ハ非常ニ高利デアルコトハ贅言ヲ要シナイ所デアリマスガ、此高イ利子ガ更ニ質屋ニ於キマシテハ「オドリ」ト云フ言葉ヲ以テ、言ハレテ居リマスガ、即チ月末ノ三十日、三十一日ニ質ニ置イテ、月ヲ越シテ朔日、二日、三日、ト云フ風ナ間ニ質受ヲスル、實際質ヲ置イテ居ル日數ハ三日ナリ、四日ナリ、五日シカ經ツテ居ラナイ、ソレニモ拘らず月ヲ跨ッタト云フコトデ、二月分ノ利子ヲ拂ハナケレバナラヌ、是ハ俗ニ「オドリ」ト言ハレテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ利子ノ計算ヲヤリマス爲ニ、質屋ノ利息ハ非常ニ高イモノニナッテ居リマス、是ハ何時カノ七十議會デアリマシタカ、政府カラ豫算總會ニ於キマシテ参考資料ニ御提出ニナリマシタモノニ依リマシテモ、高イモノハ年三十六割五分ニナッテ居ルト云フコトガ大藏省カラ發表ニナッテ居ルト云フヤウナ實情デ、實ニ驚クベキ高利ヲ取ツテ居ルノデアリマス、是等ニ對シマシテ內務當局ハ何トカシテ此質屋ノ利息ト云フモノヲモウ少シ引下ゲルヤウナ處置ヲ執ラレテハドウカ、斯ウ考ヘマスノデ當局ノ方針ヲ聽キタイノガーツデアリマス、ソレカラ次ニハ質屋ヲ利用スル

點ガ色々アリマス、ソレヲ列舉シテ見マス
ルナラバ、今申シマシタ利息ノ高イコト、
ソレカラ利子ノ計算方法ガ甚ダ不合理デア
ルコト、ソレカラ更ニ質物ノ交換、受戻シ
ト致シマスト、其ノ時ニヘ重利ト申シマシ
テ、其月ノ分ヲ兩方トモ利息ヲ取ル、重ネ
テ利息ヲ取ルヤウナコトヲヤツテ居ル、ソレ
カラ一部ノ受出シト云フコトハ中々容易ニ
ヤラシテ吳レナイト云フ不便ガアル、ソレ
カラ流質物ノ處分方法ニ付キマシテモ、是
ハ全ク質屋ノ勝手氣儘ニスルノデアリマシ
テ、質屋ガ自分ノ家デ利用ショウト古物屋
ニ賣飛バサウト、ソレハ氣儘勝手ニヤラレ
テ居ル、サウシテ質屋ガドレダケ多クノ利
益ガアリマシテモ、ソレハ質屋ノ所得ニナッ
テ居ル、是ハ公益質屋ニ於キマシテハ、流
出物ノ處分ハ競争入札ニ附スルノガ原則デ
アリマシテ、而モ入札シテ拂下ゲマシタ、
賣拂ヒマシタ金ガ、質物ノ元利金ヲ合計致
シマシタ其金ヨリモ高ク處分セラレタ場合
ニ於キマシテハ、其殘金ト云フモノヲ質受
主ニ返還スルヤウニナツテ居ルガ、私營質屋
デハサウ云フコトハ絶對ニヤラレナイト云
フヤウナ點、或ヘ流質ノ期限等ニ付キマシ
テモ、公益質屋デアリマシテハ満四箇月デ

アリマスガ、私營質屋デハ四箇月ハ四箇月
デアルケレドモ満デハナイト云フヤウナ點
ガ、公益質屋ト私營質屋トノ利害得失ノ岐
レテ居ル點ダト思フ、斯ウ云フ點ヲモウ少
シ公益質並ニ改善スルコトハ出來ナイカ、
之ヲ全然公益質屋並ニシテシマヘバ勿論公
益質屋ノ存在理由ガナクナルノデアッテ、公
益質屋ノヤウナ風ニハ或ハ參ラヌカモ知レ
マセヌケレドモ、少クトモ公益質屋ニ比較
致シマシテ、今日ノ私營質屋ガ非常ニ高イ
利息ヲ取り、氣儘勝手ヲヤッテ居ルト云フ點
ヲ今少シ何トカ質置者ニ對シマシテ有利ナ
ヤウナ風ニ改善シ、サウシテモット負擔ヲ輕
クシテ、質屋ヲ利用シ得ラレルヤウナ風ニ
改善シテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、
以上ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイト思ヒマ
ス

○勝田政府委員 塚本君ノ御質問ハ第一ニ

私營質屋ノ利息ノ高イコト、之ヲ何トカ考
ヘラレナイカト云フ點デゴザイマスガ、通
念的ニ考ヘマスルト、洵ニ御尤モニ存ズル
ノデアリマス、唯私ガ申ス迄モナク質屋ノ
金融ト云フモノハ、金額ガ非常ニ低イニ拘
ラズ手數ガ中々掛リマスノデ、隨テ之ヲ一
般ノ金融業者ト比較致シマシテ、ソレヲ基
準ニシテ質屋ノ利息ヲ決メルト云フコトモ
考ヘル所ニ所謂利息制限法ノ除外的ノ規定
ガアルノデアリマス、併ナガラ仰セノ如ク
ニ近來利息モ段々低金利時代ニナツテ低ク
ナツテ參リマシタカラ、質屋ノ利息ヲ現在ノ
儘デ置イテ置クコトガ正シカドウカト云
フコトハ、相當研究ノ餘地ガアラウト考ヘ
ルノデゴザイマスルガ、一面ニ於キマシテ
餘リニ此私營質屋ノ利息ナンカヲ制限スル
ト云フコトニナツテ來マスルト、現在是ガ庶
民金融ノ一つノ機關トシテ働くイテ居リマス
ルコトノ機能ガ薄クナツテシマッテ、或ハソ
レガ爲ニ却テ保護ヲシヨウト思フ對象デア
ル一般庶民諸君ノ差當リノ不便ニナルヤウ
ナコトガナイカトモ實ハ心配スルノデアリ
マスガ、サウ云フ點ヲ兩方面カラ睨ミ合セ
マシテ、只今仰シヤッタヤウナ點ニ付キマ
シテハ、何トカ考ヘタイト思ヒマスルガ、
直チニドウ云フ所ニ結論ヲ持ツテ行クカト
云フコトニ付キマシテハ、實ハ結論マデ行ツ
テ居リマセヌノデ、御趣旨ノ所ハ全ク同感
デゴザイマスルガ、俄ニ具體的ノ成案ヲ御
示シスルコトガ出來ナイコトハ、非常ニ遺
憾ニ感ズルノデアリマス、尙ホ十分此點ニ
付キマシテハ考ヘルコトニ致シマス

ソレカラ質屋ヲ利用スル側カラ見タ公益質

實情ニ即シマシテ無理デハナイカ、斯様ニ
考ヘル所ニ所謂利息制限法ノ除外的ノ規定
ガアルノデアリマス、併ナガラ仰セノ如ク
ニ近來利息モ段々低金利時代ニナツテ低ク
ナツテ參リマシタカラ、質屋ノ利息ヲ現在ノ
儘デ置イテ置クコトガ正シカドウカト云
フコトハ、相當研究ノ餘地ガアラウト考ヘ
ルノデゴザイマスルガ、一面ニ於キマシテ
餘リニ此私營質屋ノ利息ナンカヲ制限スル
ト云フコトニナツテ來マスルト、現在是ガ庶
民金融ノ一つノ機關トシテ働くイテ居リマス
ルコトノ機能ガ薄クナツテシマッテ、或ハソ
レガ爲ニ却テ保護ヲシヨウト思フ對象デア
ル一般庶民諸君ノ差當リノ不便ニナルヤウ
ナコトガナイカトモ實ハ心配スルノデアリ
マスガ、サウ云フ點ヲ兩方面カラ睨ミ合セ
マシテ、只今仰シヤッタヤウナ點ニ付キマ
シテハ、何トカ考ヘタイト思ヒマスルガ、
直チニドウ云フ所ニ結論ヲ持ツテ行クカト
云フコトニ付キマシテハ、實ハ結論マデ行ツ
テ居リマセヌノデ、御趣旨ノ所ハ全ク同感
デゴザイマスルガ、俄ニ具體的ノ成案ヲ御
示シスルコトガ出來ナイコトハ、非常ニ遺
憾ニ感ズルノデアリマス、尙ホ十分此點ニ
付キマシテハ考ヘルコトニ致シマス

ルト云フコトデナケレバ、中々私營質屋トシ
テハ立ヅテ行ケナイト云フヤウナ見方ガアル
ノデゴザイマスルガ、之ヲ利用スル方面カ
ラ見マスルト、ソレデハ甚ダ不便デアル、
不利益デアル、ソレハ御尤モナノデアル、
是ガ即チ公益質屋制度ノ生レタ所以デアリ
マシテ、政府ト致シマシテハ公益質屋ニ私
營質屋ガ近附イテ行ツテ、圓滿ニ運営ノ出來
ルコトヲ素ヨリ希望スルノデアリマス、國
家財政ガ許セバ、是ハ厚生省ノ所管デアリ
マスガ、公益質屋制度ヲ普遍致シマシテ、只
今仰シヤルヤウナ僅ノ金ニ對シテ非常ニ大
キナ負擔ヲ與ヘルヤウナコトノナイヤウニ
ト云フコトハ、無論理想デアリ希望デアル
ノデアリマスガ、惜テ今言ツタヤウナ沿革カ
ラ出來テ參ツタ公益質屋ニ私營質屋ヲ接近
セシムルコトハ理想デアリマスガ、現實ノ
問題トシテ、直チニ公益質屋ニ接近セシメ
ルト云フコトハ、事實トシテ行ハレルカドウ
カ、是ハ研究ノ餘地ガアラウト思ヒマス、

點ニ付テ十分研究ヲ致シタイ、片一方ハ營
利本位デアリ、片一方ハ公益本位デアル、
サウシテ片一方ハ國家ノ補助ガアルカラ、
其間ニ多少ノ開キノアルコトハ已ムヲ得マ
イト思ヒマス

○塚本委員 只今ノ勝田政府委員ノ御答辯

ハ至極尤デアリマスケレドモ、一方ハ國
家ノ補助ガアリ援助ガアルノデアリマスカ
ラ、ソレト同様ニ迄行カナイコトハ言ヲ俟
チマセヌガ、何トシテモ今日ノ狀態ハ餘リ
ニ酷イト思ヒマスノデ、其點ヲ何トカ是正
シテ戴キタイト云フノガ私ノ質問ノ趣意デ
アルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ質屋自
身ニ取ツテ有利ナ條件ガ備ハッテ居ルコトノ
アルノデアリマス、是ハ厚生省ノ所管デアリ
マスガ、公益質屋制度ヲ普遍致シマシテ、只
今仰シヤルヤウナ僅ノ金ニ對シテ非常ニ大
キナ負擔ヲ與ヘルヤウナコトノナイヤウニ
ト云フコトハ、無論理想デアリ希望デアル
ノデアリマスガ、惜テ今言ツタヤウナ沿革カ
ラ出來テ參ツタ公益質屋ニ私營質屋ヲ接近
セシムルコトハ理想デアリマスガ、現實ノ
問題トシテ、直チニ公益質屋ニ接近セシメ
ルト云フコトハ、事實トシテ行ハレルカドウ
カ、是ハ研究ノ餘地ガアラウト思ヒマス、

ニ現實ニ相當ノ資金ヲ持ッタ者ガ質屋ヲ經營スルコトニナッテ、無理算段ヲシテ質屋ヲ經營スル者ガナクナッテ、其處ニ改善ガ行ハ

レル、ソレカラ公益質屋ヲ段々發達セシメナケレバナラヌコトハ、前ニ厚生省ノ政府委員ニ屢々申シマシタガ、私ハ公益質屋ガ吾々ノ思ツテ居ル理想通りニ發展シテ參り

マスナラバ、今日ノ私營質屋ノ問題ヲサウ大キク取上ゲル必要ハナイ、自然ニ整理セラレテ行クノデアリマス、併シ公益質屋ノ發達ノ跡ヲ見マスルト、極メテ遲々タル發達デアリマシテ、公益質屋設置ノ途ガ開カレマシテカラ、十數年ヲ経過シテ居ルニ拘ラズ、今日尙ホ一千ソコヽ

途ガ開カレマシテカラ、十數年ヲ経過シテ居ルニ拘ラズ、今日尙ホ一千ソコヽ

用シテ居ルノデアリマスガ、其事ノ爲ニ被ル不利益ト云フモノモ非常ニ多イト云フコトヲ御洞察願ヒマシテ、是ガ改善ニ努力セラレントコトヲ希望シテ質問ヲ終リマス

○前田委員長 ソレデハ午後一時マデ休憩ヲ致シマス

午後零時十分休憩

午後二時三十八分開議

○前田委員長 休憩前ニ引續キ委員會ヲ開キマス——最上政三君

○最上委員 私ハ他ノ委員會ヲ受持ッテ居ル關係上、時々缺席ラスル爲ニ、以下質問

○最上委員 私ハ他ノ委員諸君カラ既ニ致シタイ點ガ、或ハ他ノ委員諸君カラ既ニ

○最上委員 當時中小產業振興株式會社法案ノ内容ニ付テ洩レ承ル所ニ依レバ、中小

○最上委員 當時中小產業振興株式會社法案ノ内容ニ付テ洩レ承ル所ニ依レバ、中小

○最上委員 當時中小產業振興株式會社法案ノ内容ニ付テ洩レ承ル所ニ依レバ、中小

○最上委員 當時中小產業振興株式會社法案ノ内容ニ付テ洩レ承ル所ニ依レバ、中小

○最上委員 當時中小產業振興株式會社法案ノ内容ニ付テ洩レ承ル所ニ依レバ、中小

○最上委員 當時中小產業振興株式會社法案ノ内容ニ付テ洩レ承ル所ニ依レバ、中小

アリマス

○入間野政府委員 此庶民金庫法案ノコトニ付キマシテハ、馬場大藏大臣ノ時代ニ

研究セラレタコトガアルノデアリマスガ、議會ニ提案スルニ至ラズシテ止ンデ居リマス、本金庫法案ハ大體ソレヲ基礎トシテ研

究ヲ進メマシテ、茲ニ成案ヲ得テ御審議ヲ

願フコトニ相成ツタノデアリマス、次ニ中小

○最上委員 當時中小產業振興株式會社法案ノ内容ニ付テ洩レ承ル所ニ依レバ、中小

其人ノ事業ノ繁榮ヲ圖リタイト云フノガ、此庶民金庫法案ノ主タル目的デアリマス

○最上委員 私達カラ考ヘルト、眞ニ政府ガ庶民階級ノ爲ニ無擔保貸付ヲスルト云フ場合ニハ、現下ノ庶民金融ノ施設、茲ニ配布サレタル、或ハ農林省ノ所管モアリマセウ、或ハ商工省ノ所管モアリマセウ、又今度新ニ出來タ厚生省ノ所管モアリマセウガ、

○最上委員 當時中小產業振興株式會社法案ノ内容ニ付キマシテハ、商工省ニ於

カト考ヘルノデアリマス、信用組合其他ニ付テハ後デ色々申上ゲマスガ、私ノ甚ダ遺憾ニ感ズルノハ、農村負債整理組合ノ問題デアリマス、私ノ記憶シテ居ル所デハ、第一回ニ於テ其融資額二億圓、又昨年ノ議會ニ於テ五億圓ノ増額ヲシタト思ヒマス、其融資金額ノ如キモ今迄ノ三千圓ヲ更ニ五千圓トスルト云フ特別ナ規定マデ設ケラレテ居ルノデアリマスガ、私ノ考ヘル所デハ今日七億モ賃スコトノ出來ル負債整理資金ガ二年ノ末ニ於テ融資金額ガ僅ニ二千九百五十七万圓ト云フ甚ダ少イ額デアルガ、是等ニ付テ大藏當局ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマセウカ、是デ眞ニ地方農村ノ負債ヲ整理シ、庶民金融ノ實ガ舉ゲラレルモノデアリマセウカ、之ニ付テ御答願ヒタイノデアリマス

○入間野政府委員 農村負債整理ノ實情ガ豫期シタヨリモ少イト云フコトハ、只今最上委員ノ御指摘ノ通リカト考ヘマス、併シ之ニ付キマシテハ預金部ヨリ低利資金ヲ出し、農林當局トモ十分協議シテ其目的ヲ達成スルヤウニシタイト考ヘテ居リマス、唯御断リ申上ゲテ置キタイコトハ、此處ニ書キ上ダタツヽノモノノミニ依ヅテ、庶民金融ノ全般ガ完全ニ行クモノトハ考ヘテ居リマセヌ、是等ノモノガ相寄リ、各、其分野ニ付テハ多少努力スレバ作リ得テ以テ庶民金融ノ目的ヲ達成スルト云フコトが最モ必要デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、今回庶民金庫ヲ出シマシタノモ、是等ノモノノ行ヒ得ザル分野ニ進出シテ行カリマス、今回庶民金庫ヲ出シマシタノモ、是等ノモノノ行ヒ得ザル分野ニ進出シテ行カウト云フノガ主タル目的デアリマス、隨ヒマシテ農村負債整理ナリ、或ハ又信用組合ナリト云フモノヲ一ツ／＼捉ヘテ、之ヲ庶民金融ノ全般カラ見テ論及シマスナラバ、多少ノ缺陷ハ免レナイト思ヒマス、繰返シテ申上ゲマス通リ、是等ノモノ全般ガ相寄ッテ、以テ我國ニ於ケル庶民金融ノ完璧ヲ期シタイト云フコトガ私共ノ念願デアリマス○最上委員 私ノ今例ニ舉ゲタノハ、以下私が本案ニ付テ御聽キシタイ點ニ對スル前提デアル、今マデノ庶民金融ハ其名ハ善イガ、實際ハ能ク行ハレテ居ナイト云フコトハ、大藏當局ハ御承知デアリマセウ、私ハ斯ウ云フ意味ノコトヲ申上ゲテ置イテ本論ニ入ル積リデアリマス、先づ負債整理組合ノ問題デスガ、組合ヲ設立スル迄ニハ色々其手續ガ難カシイ、假ニ旨ク組合員ガ出來テ、地方廳ニナイト云フ情勢デアル、信用組合ハ元來其ノ銀行デアルトカ、或ハ信用組合等ニ於テハ、擔保ガ無ケレバ金ヲ借サナイ、千圓程度ハ無擔保デ貸スト云フノデアリマスルガ、多クハ對人關係デ擔保以上ノ信用ガナシ、又從來貢獻シツ、アルト云フコトハ私共信ジテ疑ハナイ所デアリマス、只今御示シノ如ク信用組合ガ黨勢擴張ナドノ爲ニ資金ヲ出シタガ爲ニ潰レタモノモアルヤウダト云フ御話デアリマス、私ハ只日本ニ於ケル政黨ニ於キマシテ、サウ云フコトノアラウト云フコトヲ想像スルコトハ遺憾ナガラ避ケタイト存ジマス、或ハ偶ニ情實貸ナ

会員ヲ作ルニ付テハ多少努力スレバ作リ得テ以テ庶民金融ノ目的ヲ達成スルト云フコトが最モ必要デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、今回庶民金庫ヲ出シマシタノモ、是等ノモノノ行ヒ得ザル分野ニ進出シテ行カウト云フノガ主タル目的デアリマス、隨ヒマシテ農村負債整理ナリ、或ハ又信用組合ナリト云フモノヲ一ツ／＼捉ヘテ、之ヲ庶民金融ノ全般カラ見テ論及シマスナラバ、多少ノ缺陷ハ免レナイト思ヒマス、繰返シテ申上ゲマス通リ、是等ノモノ全般ガ相寄ッテ、以テ我國ニ於ケル庶民金融ノ完璧ヲ期シタイト云フコトガ私共ノ念願デアリマス○最上委員 私ノ今例ニ舉ゲタノハ、以下私が本案ニ付テ御聽キシタイ點ニ對スル前提デアル、今マデノ庶民金融ハ其名ハ善イガ、實際ハ能ク行ハレテ居ナイト云フコトハ、大藏當局ハ御承知デアリマセウ、私ハ斯ウ云フ意味ノコトヲ申上ゲテ置イテ本論ニ入ル積リデアリマス、先づ負債整理組合ノ問題デスガ、組合ヲ設立スル迄ニハ色々其手續ガ難カシイ、假ニ旨ク組合員ガ出來テ、地方廳ニナイト云フ情勢デアル、信用組合ハ元來其ノ銀行デアルトカ、或ハ信用組合等ニ於テハ、擔保ガ無ケレバ金ヲ借サナイ、千圓程度ハ無擔保デ貸スト云フノデアリマスルガ、多クハ對人關係デ擔保以上ノ信用ガナシ、又從來貢獻シツ、アルト云フコトハ私共信ジテ疑ハナイ所デアリマス、只今御示シノ如ク信用組合ガ黨勢擴張ナドノ爲ニ資金ヲ出シタガ爲ニ潰レタモノモアルヤウダト云フ御話デアリマス、私ハ只日本ニ於ケル政黨ニ於キマシテ、サウ云フコトノアラウト云フコトヲ想像スルコトハ遺憾ナガラ避ケタイト存ジマス、或ハ偶ニ情實貸ナ

リマセヌ、是等ノモノガ相寄リ、各、其分野ニ付テハ多少努力スレバ作リ得テ以テ庶民金融ノ目的ヲ達成スルト云フコトが最モ必要デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、今回庶民金庫ヲ出シマシタノモ、是等ノモノノ行ヒ得ザル分野ニ進出シテ行カウト云フノガ主タル目的デアリマス、隨ヒマシテ農村負債整理ナリ、或ハ又信用組合ナリト云フモノヲ一ツ／＼捉ヘテ、之ヲ庶民金融ノ全般カラ見テ論及シマスナラバ、多少ノ缺陷ハ免レナイト思ヒマス、繰返シテ申上ゲマス通リ、是等ノモノ全般ガ相寄ッテ、以テ我國ニ於ケル庶民金融ノ完璧ヲ期シタイト云フコトガ私共ノ念願デアリマス○最上委員 私ノ今例ニ舉ゲタノハ、以下私が本案ニ付テ御聽キシタイ點ニ對スル前提デアル、今マデノ庶民金融ハ其名ハ善イガ、實際ハ能ク行ハレテ居ナイト云フコトハ、大藏當局ハ御承知デアリマセウ、私ハ斯ウ云フ意味ノコトヲ申上ゲテ置イテ本論ニ入ル積リデアリマス、先づ負債整理組合ノ問題デスガ、組合ヲ設立スル迄ニハ色々其手續ガ難カシイ、假ニ旨ク組合員ガ出來テ、地方廳ニナイト云フ情勢デアル、信用組合ハ元來其ノ銀行デアルトカ、或ハ信用組合等ニ於テハ、擔保ガ無ケレバ金ヲ借サナイ、千圓程度ハ無擔保デ貸スト云フノデアリマスルガ、多クハ對人關係デ擔保以上ノ信用ガナシ、又從來貢獻シツ、アルト云フコトハ私共信ジテ疑ハナイ所デアリマス、只今御示シノ如ク信用組合ガ黨勢擴張ナドノ爲ニ資金ヲ出シタガ爲ニ潰レタモノモアルヤウダト云フ御話デアリマス、私ハ只日本ニ於ケル政黨ニ於キマシテ、サウ云フコトノアラウト云フコトヲ想像スルコトハ遺憾ナガラ避ケタイト存ジマス、或ハ偶ニ情實貸ナ

ドガアルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ稀
ナル例デアリマシテ、黨勢擴張ナドニ信用
組合ノ資金ガ餘リニ利用サレルナドト云フ
コトハ、實ハ考ヘタクナインデアリマス
○最上委員 私ノ黨勢擴張ト言ツタコトヲ、
サモヽ政黨ニ關係ガアルガ如ク御解釋デ
アリマスガ、私ノ意味ハサウデハナイ、譬
ヘテ申シマスレバ、信用組合ノ許可其他ニ
對シテ、地方ノ有力者ガ骨ヲ折リ其人々ガ
役員ニナリ、サウ云フ額役ガ自分ノ地位ヲ
擁護シ、地位ヲ守ルベクソコニ不當貸付ヲ
爲シテ其結果地方ニ於テハ往々ニシテ信用
組合等ノ資產狀態ニ於テ如何ハシイモノガ
アルト云フコトデアッテ、現在ノ政黨トカ或
ハ政黨員方信用組合ヲ黨勢擴張ニ利用スル
ト言フ譯デハナイ、ソレダケハ茲ニハッキ
リ御斷リヲシテ置キマス

ソレカラ私ノ聽キタイト思フノハ、本法
案ハ無擔保デ信用ダケデ大膽ナ貸付ヲ爲ス
ト云フノガ「モットー」デアリマスガ、此點
ハ他ノ議員カラ御聽キニナツカドウカ存
ジマセヌガ、例ヘテ申シマスレバ、茲ニサ
ヤカナ店ヲ開イテ居ル商工業者ガ、無擔
保デ金ヲ借リタイト言ツテ、中央庶民金庫
ナリ或ハ代行機關ナリニ借入方ヲ申込ンダ
場合ニ、其金庫ナリ代行金融機關ニ於テハ、

○入間野政府委員 初メノ御話ニ關聯致シ
マシテ、信用組合ガ情實貸ノ爲ニ其業績ノ
惡クナツタト云フ例ハアルカモ知レマセヌ
ガ、斯ノ如キコトガアリマシテハ、組合員
ニ對シテ非常ニ迷惑ヲ及ボスコトデゴザイ
マスルカラ、政府ト致シマシテモ検査ノ際
ニ嚴重ニ斯ノ如キコトハ監督致シ、斯ノ如
キコトノナカラシメルヤウニ、又未然ニ防
グヤウニ努力致シテ居リマス

次ニ庶民金庫自身ノ貸付及ビ庶民金庫ガ
代行機關ヲ利用シテ貸付ケル場合ノ手續如
何ト云フ御尋デゴザイマス、是ハ借入ノ申
込ガアリマシタ場合ニハ、其人ガ果シテ償
還能力アリヤ否ヤ、又其人ガ借入レタモノ
ヲ返シテ行クト云フ熱ニ燃エテ居ルカドウ
カト云フヤウナコトヲ調査致シマシテ、或
ハ直接ノ場合ハ庶民金庫ガ直接、或ハ代行
機關ガヤル場合ハ、代行機關ガサウ云フ調
査ヲ致シマシテ、然ル上デ貸付ヲスル、斯
ウ云フコトニ相成ルト存ジマス

○最上委員 其場合連帶保證等ノ必要ハア
ルノデスカ、アリマセヌカ、——是ハ既ニ
昨日聽イタサウデアリマスカラ、御答辯ハ
要リマセヌガ、若シ代行機關ニ庶民金庫力

○入間野政府委員 只今御尋ノ點ニ付キマシテハ、ニツノ方面カラ見ナケレバナラナ
イト考ヘマス、一ツハ即チ金融機關ガ代行
スル場合デアリマス、此場合ハ其金融機關
ハ庶民金庫トシテ貸付ヲスルノデアリマス、
モウツノ場合ハ金融機關ガ庶民金庫ト同
ジ目的ノ貸付ヲスル場合、豫メ庶民金庫カラ
所要資金ヲ借リテ置イテヤル場合、即チ
此法律ノ十七條第二號ニ屬スル點デアリマ
ス、前者ノ場合ニ於キマシテハ、庶民金庫
トシテ唯代理事務ヲ扱フダケデアリマスカラ
ラ、其貸付ノ都度庶民金庫カラ金ガ出テ參ル
ノデアリマスガ、後者ノ場合ハ庶民金庫ト同
ジ目的ノ貸付ヲスルノデアリマスカラ、
豫メ庶民金庫ト契約致シマシテ、一定額ノ
借入ヲ致シテ置クノデアリマス

○最上委員 更ニ伺ヒタイノハ、現在地方
ニ於ケル償還能力ガアルト云フモノニ對シ
テ無擔保デ貸スト云フ法案自體ハ便利ナ、
又庶民ヲ救濟スペキ良イ法案ダト思ハレル
ガ、實際地方ノ是等金融業者ノ貸付状態ヲ
見ルト、サウ容易ク貸スモノデハナイ、金
融機關ニ於テモ同ジコトデ、代行スルト云

一方ニ於テハ相當ノ利ヲ取り、或ハ擔保ヲ取ッテ貸シテ居ル、然ルニ如何ニ代行者ト雖モ、直チニ無擔保デドシ——貸スト云フコトヲ、金融業者自體ガ歡迎スルカドウカト、私ハ疑フノデアリマス、私ハ斯ウ云フ業者ノ内容ニ付テハ不案内ノ者デアリマスガ、私共ノ考トシテドウカト思フノデアリマス、ソレデアルカラ勢ヒ地方ニ於ケル是等金融業者ハ、サウ云フ貸付ヲ爲スコトヲ好マズ、從ツテ此庶民金庫ハ大都市其他ノ限ラレタル地方ニ於ケル金融事業ニナリ得ルノデアラウト吾々ハ考ヘルノデアリマス、大藏當局ハ如何ナル御意見デアリマスカ、御伺致シマス

コトヲ考へテ居ル次第アリマス、尙ホ又地方ニ於ケル代行機關ニ付キマシテモ、能ク此趣旨ヲ諒解シタ人ニ、即チ理解アル人ニ代行セシメルト云フコトニ致シマシタナラバ、敢テ大都市ニ偏スルコトナク、全國相當普及スルモノデアラウト信ジテ居リマス

○最上委員 更ニ私ハ本金庫ニ對シ厚生省所管ノ公益質屋ノ問題ニ付テ色々申上げ

ゲタイノデアリマスガ、是ハ塚本委員カラ御聽キニナツタコトト思ハレマスガ、モウ一
點御聽キシタイノハ、公益質屋ニ於テハ利
率ノ如キハ一割五分、最高額ノ如キモ普通
貸付其他ニ依ツテ色々分レテ居ル、然ルニ庶
民金庫ニ於テハ無擔保、而モ年八分、大體
三百圓或ハ其前後ノ貸付ヲ爲スト云フ意向
ノヤウニ伺ヒマスガ、サウスルト同ジ地方
アリ、又不統制デハ、將來是ガ發展上如何
カト思ヒマスガ、大藏當局ノ御意見ヲ伺ヒ
マス

○入間野政府委員 公益質屋ノコトニ付テ
ハ私ハ詳シ内容ハ存ジテ居リマセヌ、唯
貸付ハ擔保物ヲ持ツテ行ケバ直グ右カラ左
ヘ貸付ガ行ハレルモノト考へテ居リマス、
庶民金庫ノ方ニ於キマシテハ、一應ノ取調

ハ致サナケレバナリマセヌカラ、ソコニ一
週間ナリ或ハ十日間ナリノ日子ガ掛ルト思
ヒマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、其分

野モ自ラ違ツテ來ルノデハナカラウカ、殊ニ
級ヲ目指シテ居ルヤウニ考へテ居リマスノ
デ、分野ハ自ラ明ナルモノガアルノデハナ
カラウカト考へテ居リマス

○最上委員 只今政府委員ノ御答辯デハ全

然分野ガ達フカラ決シテ差支ナイ、金額等
モ質屋八十圓、二十圓ト云フ微細ナ金ニ於
テモ擔保ガナケレバナラヌト云フニモ拘ラ
ズ、一方ハ全然擔保ナク對人信用デ貸ス、
ソレ自體ハ私費成デアリ、又歡迎スペキコ
トデアルガ、併シソレガ行ハレルカドウカ
疑問デアル、是ハ今日マデノ庶民金融ト稱
セラレル所ノ各種ノ施設、先ニ申ス如キ色
色ノ組合、或ハ負債整理等ノ問題ハ、其時
ニハ必ズ中小商工業者、或ハ中小農民ヲ救
フト云フ意味デ法案ガ成立サレテ居ルノデ
アリマスガ、實際ハ救ハレテ居ラナイ、却

スガ、今日住宅組合ノ現状ヲ見ルト、善良
ナ組合員ハ今困ツテ居ル、當時ハ國家ガ是等
工省ニ關係ガアリマスノデ、私カラ詳シイ
御説明ヲ申上ゲルコトハ洵ニ至難デゴザイ
マス、唯併シ不動産融資及ビ損失補償法ノ

ノ問題ニ付テモ色々御聽シタイノデアリマ
スガ、モウ既ニ他ノ諸君カラ申述ペラレタ
ト思ヒマスカラ、差控ヘマスガ、最後ニ中
小商工業應急資金ノ現狀、又不動產融資及
損失補償ノ其後ノ情勢、或ハ產業組合中央
金庫特別融資及ビ損失補償ノ其後ノ情勢、
商工資金融資及ビ損失補償ノ情勢等ニ付テ
御分リノ範圍ヲ御聽シタイノデアリマス

○入間野政府委員 從來庶民金融機關トシ
テ設立セラレ、又ハ企テラレマシタモノガ、
御話ガアリマシタガ、此庶民金庫ニ付キマ
シテハ、先日來屢々申上ガテ居リマス通り、
私共ト致シマシテハ、政府ガ全額ノ出資ヲ
シ、更ニ其十倍ノ債券ニ對シテ元利拂ノ保
障ヲ政府ガシテ行クト云フヤウナコトハ、
テ是ガ爲ニ非常ニ困ツテ居ルヤウナ事實モ

次ニ只今御尋ノ各種ノ不動產融資其他ノ
モノノ情勢デアリマスガ、主トシテ農林、商

業説明ヲ申上ゲルコトハ洵ニ至難デゴザイ
マス、唯併シ不動產融資及ビ損失補償法ノ
情勢ニ付キマシテハ、私共ノ所管デアリマ
スカラ、此事ニ付キマシテ御説明申上ゲタ
イト思ヒマス、御承知ノ通り不動產融資及
損失補償法ハ昭和七年ノ制定ニ係ツテ居リ
マス、其當時ニ於キマシテハ、打續ク經濟
界ノ不況ノ爲ニ、都市ト云ハズ、農村ト云
ハズ、可ナリ疲弊シテ居リマシタノデ、所
謂時局匡救ノ聲ハ全國津々浦々ニ擧ガツタ
ノデアリマス、隨ヒマシテ金融機關ト致シ
マシテモ、不動產等ニ對スル固定貸ガ相當
重ナリマシテ、金融梗塞ノ狀態ヲ呈シマシ
タ爲ニ、此銀行ノ不動產貸、若クヘ所有不
動產ヲ資金化シ金融ノ圓滑ヲ圖リタイト云
フノガ、此法律制定ノ目的デアツタノデア
リマス、爾來六年ヲ經過致シマシテ、其間
ニ出マシタ所ノ資金ガ、總額五千百餘万圓
デアリマシテ、昨年末現在ニ於キマシテ、
尙ホ三千二百万圓ヲ存シテ居ルヤウナ實情
デアリマス、此法案モ初ノ目的程金ハ出テ
居リマセヌガ、併ナガラ其後ニ於ケル金融

全幅ノ努力ヲ致シタイト考へテ居リマス
借リテ家ヲ造ルカラ、非常ニ結構ノヤウデ
アリマスガ、實際ハ救ハレテ居ラナイ、却
テ是ガ爲ニ非常ニ困ツテ居ルヤウナ事實モ
アル、恐ラク農村負債整理組合ノ如キ、或
ハ住宅組合ノ如キハ其顯著ナル例テアル、
組合員自體ハ其當時ハ非常ニ安イ率デ金ヲ

アリマスガ、隨ヒマシテ行クト云フヤウナコトハ、
シテ居ルト考へテ居リマス、隨ヒマシテ
ノ如キモノガ幸ニ御協贊ヲ得テ設立サレマ
シタ曉ニ於キマシテハ、其目的達成ノ爲ニハ
ノ緩和、即チ時局匡救事業ガ全國行渡ニ

リマシテ、全國ニ相當ノ金ガ落チ、全國ノ地方銀行ニ於キマシテモ、手許資金ガ預金増加等ノ爲ニ樂ニナリマシタガ爲ニ、敢テ不動産ヲ不動産銀行ニ持ツテ行ツテ金ヲ借入レナケレバナラナイ程、手許ハ困ラナカツタノデアリマス、又一面カラ申シマスレバ、不動産等ノ値上リガアリマシテ、之ヲ借換ヘマセヌデモ自ラ處理シ得ル情勢モアッタノデアリマシテ、是等ノ點カラシテ此資金ガ初メ豫想シタ程出ナカッタト云フコトハ致方ナイ事情デアルト考ヘマス、併ナガラ此法案ハ、此法案アルコト自身ガ金融界ニ過般衆議院ニ此期間延長ノ法律案ヲ提出致シマシテ、只今貴族院ニ審議中デゴザイマス、何レ此法律案通過ノ上ニ於キマシテハ、不動産融資ノ上ニ貢獻スル所ガアラウト考ヘルノデアリマスガ、其後ノ經濟社會ノ情勢ノ變化ニ依リマシテ、初メ期待シタ程ハ出ナカラウト存ジテ居リマス、其外ノ事ハ詳シク存ジマセヌノデ、又御必要トアレバ書面等ヲ以テ申上ゲタイト思ヒマス

○最上委員 尚ホ以上ノ外ニ或ハ絲價安定融資補償法等幾多ノ庶民金融ニ關スル所ノ施設ガ今日迄行ハレタ、其法案ヲ提案シタ當時ハ中小商工業者中小農民救濟ト云フ意味

デ吾々ハ審議シテ來タノデアリマスガ、其後
ノ情況ヲ見ルト、是等ノ多クノ法案ハ悉ク
トハ申シマセヌガ、殆ド大中商工業者、大
中農業者ノ救濟デアリ、或ハ資本家及ビ
融業者ノ救濟デアツテ、眞ニ吾々ガ要望スル
所ノ小商工業者或ハ小農ノ救濟デハナイン
デアリマス、今回茲ニ庶民金融金庫法案ガ
提案サレタノデアリマス、此案ハ此内容、
説明等ニ依レバ無擔保デドシ／＼貸付ヲシ
テ吳レルト云フ結構ナ案デアル、實際ソレ
ガ行ハレルカドウカ分リマセヌガ、今迄ノ
案ハ其法案提出當時ニ於テハ、中小商工業
者、中小農業者ヲ救フト云フ意味デ御出し
ニナルガ、是ガ運用ニ當ッテハ、ドウモ實
際ニ行ハレテ居ラナイ憾ノアルノハ甚ダ遺
憾デアル、ドウカ此法案ノ成立シタ場合ニ
於テハ、眞ニ無擔保デ之ガ貸出ヲ實施シ、
庶民階級ノ有ユル方面ニ之ヲ均霑セシムル
コトヲ大藏當局ニ要望シテ置キマス、尙ホ
各條ニ付テ色々實例其他ニ關シテモ聽キタ
イノデアリマスガ、前ノ諸君カラ御聽ニナッ
タコトト思ヒマスカラ、私ノ質問ハ此程度
デ打切りト致シマス

尋致シタイト思ヒマス、唯政府ノ方ノ御答
辯ノ申中デ、マダ私ニ分リ兼ネル點ハ多少重
複ヲスルト思ヒマス、先づ私ハ庶民階級ノ
金融ニ對スル比較ノ問題ニ對シテ御伺シタ
イノデアリマス、ソレハ恩給金庫ト庶民金
庫トノ比較デアリマスガ、恩給受給者ノ
申デ、從來產業組合、軍人後援會、其他一
般金融業者カラ、融通シテ來タ多クノ者ヘ、
庶民階級ノ者ダト私ハ考ヘテ居ル、今後モ
亦恩給金庫ヲ利用スル者ノ多クハ、庶民階
級ニ相違ナイト思ツテ居ルノデアリマスガ、
此受給者ハ庶民大衆ノ一部ノ者デアリマス、
政府ノ方デ三千万圓ヲ投ジテ居ルノデアリ
マス、併ナガラ其三千万圓ヲ私ハ多イトハ
申シマセヌ、勿論マダ／＼増額スルコトヲ
希望スルノデアリマスルガ、今回ノ庶民金
庫ニ至ツテハ、一千万圓ト云フコトニ爲サレ
テ居ルノデアリマス、同ジ庶民階級ノ金庫
ニシテ、大衆的ナ方ヲ目的トスルナラバ、
此方ガ相當多クナケレバナラヌノデアルト
私ハ考ヘテ居ル、隨テ今最上サンノヤウニ、
恩給金庫ヲ通過サス爲ニ、前ノ議會ニ於テ
問題ニナツタ庶民金庫ト云フモノヲ、申譯的
ニ出サレタノヂヤナイカト云フ疑ガ入ルノ
デアリマス、是ハ非常ニ金額ノ點ニ於テ顧

○入間野政府委員 恩給金庫ノ資本金ハ御
說ノ通リ三千万圓デアリマシテ、今回拂込ヲ要ス
ハ五百万圓デアリマシテ、此點ヲドウ御考ニナッテ居ル
ベキモノガ、民間政府ヲ通ジマシテ六百万
圓デ事業ヲ營ムコトニナッテ居リマス、庶民
金庫ノ方ハ一千万圓全額政府ノ出資デアリ
マシテ、之ニ對シテ一千万圓ノ額面ノ公債
ヲ交付シテ貰フト云フコトニ相成ツテ居リ
マス、隨ヒマシテ事業開始ノ當初ニ於キマ
シテハ、恩給金庫ハ六百万圓デアリ、庶民
金庫ハ一千万圓デアリマス、併ナガラ昨日
モ大臣ノ申上ゲマンタ如ク、此庶民金庫ガ
庶民金融ノ爲ニ非常ニ貢獻シテ、一千万圓
ノ資本金及ビ之ニ十倍スル庶民債券ノ額ヲ
以テシテハ、到底此金融ヲ圓滑ニヤッテ行ク
上ニ於テ不足ガ出來ルト云フ時ハ、財政其
他ノ都合ニ依ツテ敢テ増額スルコトヲ躊躇
シナイト云フ風ニ大臣モ申サレテ居リマス、
此企ハ我國ニ於ケル新シキ企デアリマス、
隨ヒマシテ一億ノ庶民債券ヲ運用シテ行キ
マシタナラバ、或ル程度マデ庶民階級ノ金
融ニ貢獻スルコトガ出來ルダラウト思ヒマ
ス、ソレ以上資金ヲ必要トスル場合ニハ又

將來別途考究致シタイト存ジマス

○小笠原委員 私ガ唯政府ノ方ノ出資ノミ

ヲ申上ゲタ點ハ多少私ノ言ヒ足リナイトモ

アツノデアリマスガ、兎ニ角恩給金庫ノ方

ト庶民金庫ノ方トニ、其額ニ於テ餘程幅ガ

アルト云フ點ヲ申上ゲタノデアリマスガ、

其點ハ議論ニナリマスカラ申上ゲマセヌ

ガ、他ノ方ニ比較ヲシテ申上ゲテ見マス、

最上君モ申サレタ通り、農村關係、漁村關

係デハ本當ニ貧民階級ガ多イノデス、殊ニ

漁村關係ト云フモノハ、貧困者ニ毛ノ生ヘ

タ位ノ庶民大衆デアリマス、此漁村ニ對シ

マシテハ、今回漁業組合ガ中央金庫ニ加入

スルコトガ出來ルト云フ産業組合法ノ改正

ガ提案サレテ居ルノデアリマス、此方ニ對

シマシテハ、政府ノ方デハ五百万圓ノ中ノ

半額二百五十萬圓ヲ出資スル、而モソレハ

五箇年間ト云フコトニナツテ居リマス、サウ

シマスルト、僅カ二百五十萬圓ヲ五箇年間ニ

出資シテ戴イテモ、ホンノ小額デ、中央金

庫ニ加入致シマシテモ、漁村ノ庶民階級ト

云フモノノ金融ガ如何ニ申譯的デアルカト

云フコトハ明瞭ナノデアリマス、之ニ比較致シマシテモ、是等ノ大衆ハ、恩給受給者ヨリモ、又中小商工業者ヨリモ、勤勞所得者ヨリモ、ヨリ以上アル、此ヨリ以上アル

方ニ對シテハ、斯ウ云フ比較的小額ナ出資

ニ依ツテ中央金庫ニ加入セシムルト云フコ

トハ、ヤハリ政府ノ方ノ施設ノ總テガ中央

ニ偏在シテ、地方的、殊ニ農村漁村ハ閑却

サレテ居ルト云フ事實デアリマス、此金庫

制度モ亦サウ云フ所ガ現ハレテ居ルノデヤ

ナイカト云フコトヲ考ヘラレルノデアリマ

ス、又一面農村ノコトニ付キマシテ、只今

負債整理組合ノコトデ最上サンガ申サレマ

シタガ、是ハ事實最上サンノ言フ通リデア

ル、理窟ヲ言ヘバドンナニデモ言ヘルケレ

ドモ、實際負債整理組合ト云フモノハ餘リ

ニ困難シテ居ル、是ガ出來タナラバ、ドウ

聲バカリ大キクテ、農村ハ借財ノ爲ニ非常

ニカ凌ギ付クカト思ツテ、吾々モ待ツテ居ツ

タケレドモ、中々手續ガ面倒デ、本當ニ僅

カバカリノ認可シカ出來ナイ、聲バカリ大

キクテ、却ツテ是ガ爲ニ弊害ガ伴フ位ノ今日

ノ事情ニナツテ居ルノデアリマス、私ハ青森

縣デアリマスガ、全國デ一番疲弊シタ所ハ

沖繩縣デアリ、二番目ガ青森縣ト指ヲ折ラ

レル位デアリマス、餘リニ負債整理組合ト

云フモノニ對シテ手續ガ面倒デアル、是ハ

政府ガ餘り聲バカリ大キクテ、ナンダカ申

譯的ニチヨイ／＼認可シテ居ル位ノモノデ、

實際ニ負債整理組合ト云フモノヲ獎勵シテ

居ルカ、或ハ指導シテ居ルカト云フコトヲ

疑フヤウナコト迄思ハレテ居ルヤウナ事情

云ハズ、又漁村ト云ハズ、或ハ又商工業

者ト云ハズ、農業者ト云ハズ、勤勞所得者ト

云ハズ、總テノ此種階級ノ人々ノ金融ヲ圖リ

タイト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ

其及ブ所或ハ農村ニモ行キマセウシ、或ハ又

漁村ニモ行クコトト存ジマス、從來農村關

係ニ於キマシテ、或ハ負債整理ノ方法ヲ考

ヘル、或ハ自作農創設維持ノ方法ヲ考ヘル、

是等ノ方面ニ於キマシテモ、農林省其他ニ

ハ先程申上ゲタ通りデアリマス、而シテ其

目的トスル所ハ、敢テ都市ト云ハズ、農村ト

云ハズ、又漁村ト云ハズ、或ハ又商工業

者ト云ハズ、農業者ト云ハズ、勤勞所得者ト

云ハズ、總テノ此種階級ノ人々ノ金融ヲ圖リ

タイト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ

其及ブ所或ハ農村ニモ行キマセウシ、或ハ又

漁村ニモ行クコトト存ジマス、從來農村關

係ニ於キマシテ、或ハ負債整理ノ方法ヲ考

ヘル、或ハ自作農創設維持ノ方法ヲ考ヘル、

是等ノ方面ニ於キマシテモ、農林省其他ニ

○小笠原委員

只今ノ御答辯ニ依リマスル

ト、是ハ勤勞所得者、中小商工業者バカリ

デナク、農村ノ全般ニ瓦ル金庫デアルト云

フコトノ御答辯ヲ得マシタガ、如何ニモ農

村方面ニ於キマシテハ、農業ヲシテ居ルニ、非常ナ高イ金利ノ馬車ヲ用意シテヤルニ、コトニナルノデアリマス、是ガ年八分位デ、此恩惠ニ浴スルコトガ出来レバ、農村ノ副業トシテハ非常ニ助カル結果ニナルノデアリマス、又全國ノ農村ニハ近頃ハ相當ニ行商ガ入り込ンデ居ルノデアリマス、此行商家ナドト云フモノハ、多クハ資本ノ無イ者バカリデアリマス、隨テ問屋カラ懸ケ買ラスルノデアリマス、ソレガ爲ニ二割ナリ三割ナリノ相當ノ高價ノモノヲ農村ニ賣付ケルト云フヤウナ今日ノ狀態デアリマス、是ガ千圓ナリ五百圓ナリノ資金ヲ受ケマシテ、サウシテ是等ガ年八分位ノ利子デ運用ガ出来マスルナラバ、相當二割三割ノ安イモノヲ農村ノ方ニ配布スルコトガ出来ル、是ハ一石二鳥ノ、金庫ノ目的上は忘レテハナラヌヤウナ事情ニナッテ居ルノデアリマスガ、其細力イ點マデハ大藏當局ノ方デ能ク御調査ノコトトハ考ヘルノデアリマスガ、唯庶民階級ノ多イ所ト云フコトヲ目的トシテ、庶民階級ノ方ニ總テニ行瓦ルノダト云フ御答辯ニ對シテハ、之ヲ實行スルニ當ツテ、然ラバドウ

云フ所ニ支部ヲ置イテアルカト云ヘバ、大
阪方面ニ支部ヲ置ク、吾々ノ方ノ東北方面
ハ庶民階級ハ多イ、人口ニ比較シタナラバ、
比例的ニ一番庶民階級ガ多イ筈デアル、而
モ疲弊困憊シテ居ルノハ是ハ御承知ノ通リ
デアル、サウ云フ所ニハ支部ヲ御置キニナ
ラヌ、又支部ヲ御置キニナラヌデモ、是等ニ
對シテハ何カノ機關ヲ多ク設ケテ、細カク設

○入間野政府委員

、此代行機關ヲ設ケル
テ御認ニナルト云フ御
ニ角今申サレタヤウニ、
モノニ是ガ行渉ルノダ
答辯ナサル上ニ於テハ、
關ガソコニ備ハッテ居
、ソレヲ今細部的ニ御
アリマス

○小笠原委員
役

ヲ扱ハセタイト云フ氣甚
ナデ、全國約五千五百餘ノ
ラバ、相當程度全國ニ普
及以テ庶民金融ノ目的ヲ
テ居リマス

ラズ、支店ニモ之ヲ扱ハセタイト云フ氣其
業所ノ中カラ、適當ニ選擇致シマシテ伏
及スルノデハナカラウカト考ヘテ居リマス
斯クシマシテ都市ト云ハズ農村ト云ハズ
各方面ノ需要ニ應ジ以テ庶民金融ノ目的ヲ
達成シタイト考ヘテ居リマス

カ九州方面トカ云フモノハ、非常ニ恩恵ニ浴スルコトガ多イノデアリマスガ、東北關係トカ北海道關係ノ銀行ノ所在地ガ遠方デ、無盡會社トカ銀行ヲ見タコトガナイト云フ部落ハ澤山アル、サウ云フ所ニ散在シテ居ル庶民階級ト云フモノハ、均衡ガ取レナイヤウニ思フノデアリマスガ、サウ云フ細カイコトニ迄何カ御考ニナシテ居ラレマスカ

○入間野政府委員 關西地方ト東北地方ニ於テ人口ノ密度其他ノ相違ナルコトハ御說ノ通リデアリマス、私モ岩手縣ノ產デアリマシテ、東北地方ノ實情ハ多少存ジテ居リマス、岩手縣ノ例ニ付テ見マシテモ、青森縣ト異ナリマシテ、銀行ハ岩手殖產銀行ツデアリマシテ、最近陸中銀行ノ新設ヲ見マシタ、是等ノ銀行ガ相當範圍ノ支店ノ數ヲ持ツテ居リマス、青森縣ニ於キマシテ、岩手縣ヨリモ當多イヤウデアリマスカラ、岩手縣ノモノヲ利用シマシタナラバ、行涉ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、併ナガラ局長サンノ御答辯ニ依リマシテサウ云フ御説デアリマシタガ、サウ致シマスルト根本ニ於テ此資本ノ中ニ幾部ハ之ヲ勤勞所得者ノ方ニ振向ケ、幾部ハ農業者ノ方ニシテ行キタイ、ソレガ爲ニ農村ノ小賣商人ナリ或ハ普通ノ農業者ナリ、サウ云フ人達ガ產業組合等ニ依ツテモ資金ハ得ラレナイ

ト云フヤウナ場合ニハ其金庫カラ無擔保信託附ヲシテ、出來ルダケサウ云フ方面ニ貢獻シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス
○小笠原委員 大抵分リマシクガ、無擔保此對人信用ノ調査ト云フモノハ、ドウシテモ勤勞所得者、時間デ勤務シ俸給ニ依ツテ生活ヲシテ居ル方々ノ信用ハ、直チニ調査ヲシ得ラレル、所ガ中小商工業者並ニ農家トシ得ラレル、所ガ中小商工業者並ニ農家ト云フモノノ信用程度ト云フモノハ、庶民階級ニ至ツテ尙更複雜デアッテ調査ガ容易デナイ、斯ウ云フ關係デ、隨テ其金融ハ今ノ資本ノ範圍内ニ於キマシテハ、多クノモノハ最上サンノ言ハレタ通リデ勤勞所得者ノ、即チ役人ニ多ク利用サレルノデヤナイカトト付キマシテハ十分御注意アランコトヲ私ハ希望スルノデアリマスガ、唯本法ノ運營上ニ於キマシテ大膽ニ行ハナケレバナラヌト云フ御答辯ガアッタノデアリマスガ、此

ト致シマシテモ、將來ハ是非トモ斯ウ云フ點ニ付キマシテハ十分御注意アランコトヲ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、併ナガラ局長サンノ御答辯ニ依リマシテサウ云フ御説デアリマシタガ、サウ致シマスルト根本ニ於テ此資本ノ中ニ幾部ハ之ヲ勤勞所得者ノ方ニ振向ケ、幾部ハ農業者ノ方ニシテ行キタイ、ソレガ爲ニ農村ノ小賣商人ナリ或ハ普通ノ農業者ナリ、サウ云フ人達ガ產業組合等ニ依ツテモ資金ハ得ラレナイ

ト云フ方針デ行クノダカラ、ソレデ大膽ニ長サンノ御意見ヲ茲ニ伺ツテ置キタイ

○入間野政府委員 只今ノ御説御尤ト存ジマスル、果シテ只今アリマスル金融機關ノ足ラザル所ヲ補フノガ、ドノ方面ニ多クアルカト云フ調査ハ致シテ居リマセヌ、ドノ計算ハ只今ノ所出來テ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス
○小笠原委員 只今御調査ガ出來テ居ラヌト致シマシテモ、將來ハ是非トモ斯ウ云フ點ニ付キマシテハ十分御注意アランコトヲ云フ御説デアリマシタガ、サウ致シマスルト根本ニ於テ此資本ノ中ニ幾部ハ之ヲ勤勞所得者ノ方ニ振向ケ、幾部ハ農業者ノ方ニシテ行キタイ、ソレガ爲ニ農村ノ小賣商人ナリ或ハ普通ノ農業者ナリ、サウ云フ人達ガアルト云フ時ニ、同ジ條件デ申込マレルト云フ、大體ノ細目的方針ニ依ツテヤラナケレバ、局長サンノ方針ハ各代行者ニ依ツテ

ト云フ方針デ行クノダカラ、ソレデ大膽ニ長サンノ御意見ヲ茲ニ伺ツテ置キタイ

此業務ヲ致サナケレバナラスト云フ意味デアルカ、兎ニ角今ノ資金ニシテハ十分ニ全國的ニ行渉ラヌト云フ前提ノ下ニ於キマシテハ、非常ニ申込者ガ多イノデアッテ、ドレダケガ落第者ニナシテシマヒ、ドレダケニ向ケラレルカト云フコトニ對シテ、餘程問題ニナルダラウト思フノデアリマス、アナタ方ガ大膽ニ行フト云フ趣旨ハ何處ニアルカト云フコトヲ一ツ承リタイ

○入間野政府委員 現存ノ金融機關ニ於キマシテハ、銀行デアリマスレバ多數ノ預金ヲ預ツテ居リマス、無盡會社デアリマスレバ多數ノ掛金者ヲ持ツテ居リマス、又市街地信用組合ニシテモ貯金ヲ持チ、或ハ多數ノ組合員ヲ持ツテ居リマス、隨ヒマシテサウ云フ資金ヲ持ツテ貸付ヲ致シマスル場合ニハ、大膽ニ之ヲ行ヒ、缺損ヲ來スヤウナコトハ慎マナケレバナラナイト考ヘマスガ、此金庫ハ幸ニシテ政府ヨリ一千萬圓ノ出資ヲ受ケ、且ツ之ニ十倍スル庶民債券ヲ發行シ得ルノリマスカ、又ハ同ジ茲ニ利用者ノ申込ガアル、斯ウ云フ時ニ一人ガ相當裕福ナ者デアル、ソレダカラ信用ノ程度モ高イ、直チニ之ニ金融シ得ラレルノデアルケレドモ、一モ或ル程度迄ハ大膽ニヤリタイ、斯ウ申上ゲタノデアリマスルガ、其意味ハ從來金融機關ノ扱ツテ居リマスル無擔保貸付ヨリモ大膽ニヤリタイ、但シ借手ガ償還能力ガアリ、

又借リタモノハ返サナケレバナラナイト云
フ心持ニ燃エテ居ル人ヲ選ビタイ、斯ウ考
ヘテ居リマス、隨ヒマシテサウ云フ人達モ
或ハ不時ノ災難ニ依ツテ返スコトガ出来ナ
イヤウナ場合ヲ生ズルカモ知レマセヌ、斯
ルガ故ニ四分ノ危険率ヲ見込ミマシテ、貸付
ノ利率等モ定メタヤウナ次第デアリマス
○小笠原委員 私ハ此四分ト云フ多額ノ危
険率ヲ見テノ大膽ト云フ「意味ヲ伺ッタノデ
アリマス、隨テ今御答辯ニナッタヤウニ、勿
論返済スルニ眞劍味ガアルト云フノハ同一
デアリマスガ、一方ハ相當ニ裕福デアリ、
一方ハ本當ニ裸一貫ノ者デアツテ、其眞劍味
ガ同一ダト云フモノハ、低イ方ヲ先ニ御取
リニナル大膽ト云フ意味デアルカ、斯ウ云
フコトヲ伺ッタノデアリマス

○入間野政府委員 具體的ノ事例ニ打突カ
ラナイト、能ク其點ハ御返事致シ兼ネルと思
ヒマス、借手ガ具體的ニアリマシタ時ニ、
ドチラガドウデアルカト云フコトデナイ
ト、抽象的ニ申上ゲルコトハ困難カト思ヒ
マス、回収上ノ點ハ、返ス心持ガ強イ方ヲ
ヲ考慮シタ上ノコトデ、一概ニ斯ウ云フ風

ニヤルト云フヤウナコトハ此處デ御答スル
コトハ困難デアルト思ヒマス
○小笠原委員 其點ハ是以上申上ゲテモ議
論ニナリマスカラ此位ニ止メテ置ギマシテ、
庫ニ於キマシテモ恩給金
居ルノデアリマスルカラ、此同ジ政府ノ金
融施設ニ付テ、無理ニ各種ノ金融機關ヲ設
置スル傾向ガアルノデアリマス、今ノ案デ
アル所ノ庶民、恩給金庫ハ、大局的見地ニ
立テバ等シク庶民金融機關ニシテ、政府機
關タル點ニ於テハ同様デアルト私ハ考ヘテ
居ルノデアリマス、唯異ル點ハ、其監督官
廳ガ一ハ大藏省デアリ、一ハ内閣デアルト
云フ點デアリマス、而シテ若シ之ヲ合併シ
テ設置スルナラバ、金融機關トシテノ基礎
ヲ固メラレ、又業務運營上ニ於テモ經營費
ノ合理化ヲ期スルコトヲ得テ、兩者共ニ其
目的ヲ達シ得ルモノト思フノデアリマス
ガ、將來是等ハ合併スルヤウナ御考ヲ持ッテ
居ラヌデゴザイマセウカ、之ヲ最後ニ聽イ
テ置キタイ

○入間野政府委員 近時色々ノ機關ガ設置
セラル、ト云フ御話デアリマス、庶民金庫
ニ付キマシテハ、我國近時ノ庶民金融ガ斯
ノ如キモノナクシテ濟ム現狀ニアリマスル
ナラバ、何モ之ヲ設ケル必要ハナイト考ヘ
マス、又將來モ我國ノ庶民金融ガ斯ノ如キ
モノナクシテ濟ム時代ガ來マシタナラバ、
斯ノ如キモノハ存置スル必要ハナイト考ヘ
マス、併ナガラ先日來申上ゲマスル通り、
○前田委員長 高橋義次君
マシタノデ、此法案ヲ提出シテ御審議ヲ願ツ
テ居ル次第デアリマス、第二ニ恩給金庫ト
經費ノ節約モ出來テ宜イヂヤナイカト云フ
ルガ、恩給金庫ト庶民金庫トハ自カラ其目的
ヲ異ニシテ居リマス、恩給金庫ハ恩給證書
ヲ擔保トシテ貸付ケテ居リマス、庶民金庫
ハ何等擔保ヲ取ッテ居リマセヌ、隨ヒマシテ
貸付ノ上カラ言ヒマシテモ、恩給金庫ノ方
ハ確實ニ回収シ得ルモノト考ヘマスルガ、
庶民金庫ノ方ハ其回収ニ多少ノ危険率ヲ含
ムト存ジマス、人情ノ常ト致シマシテ確カ
ナモノト不確カナモノトアリマスル時ヘ、
ヤウナコトニナリハシナイカト考ヘマスル
ノデ、目的ノ違フニツノモノヲ單ニ經費ノ
ト云フヤウナ條件ガ此金庫ノ特色デアルト
思フノデアリマスガ、其ヤウニシテ御貸ニ
ナツタ其後、ドウモ貸セバ貸シ放シ、此回収

ニ付テ或ハ金融ヲ必要トシタ其實情ニ付テ、

ソレ等ニ對スル指導ト申シマスカ、教化ト

申シマスカ、サウ云フコトニドウモ當局ガ

思ヒ到ラスト云フコトハ、折角此金庫ヲ設

ケタ趣旨ニ對シテ、片跋ナ感ガアリマス、

其點ニ付テ、御所見ハ如何デスカ

○入間野政府委員 貸付ケマシタ後ニ其回

收ニ關シテ何等カノ施設ヲスルカト云フ御

尋カト存ジマスル、勿論庶民金庫自體カラ

貸シマシタ場合、若クハ代行機關カラ貸シ

マシタ場合ニハ、能ク借主ノ事情ヲ時々監視

シマシテ、回収上遺憾ナキヲ期シタイト存

ジテ居リマス、隨ヒマシテ貸付ケマスニ當

リマシテハ、其人ノ希望ニ依リマシテハ、

年賦償還ノ途モ執ツテ居リマス、又其人ノ希

望ニ依リマシテハ、定期償還ノ方法モ執ツテ

居リマス

○高橋委員 私ハ其點ガ此金庫本來ノ目的

カラ見テ、政府ガソレ等ニ付テ、何等ノ腹案モ

御計畫ダト思フ、勿論時局ノ推移ト云フ

多イト思フ、ナゼカト申スト、是ハ相當大

膽ナ計畫ダト思フ、勿論時局ノ推移ト云フ

コトモアリマスガ、無擔保デ單ナル信用貸

デ、而モ年八分デス、サウ云フ融資ヲナスツ

テ、サウシテ唯回収ダケラ是レ目的トスル、

回収ニ付テ遺憾ナキ監視ヲスル積リダト云

フコトダケデハ、ドウモ形ニ囚レテ遺憾ナ

空虚ガアルヤウニ考ヘルノデスガ、特ニサッ

キ政府委員モ仰セニナツタ通り、恩給金庫ハ

配當シテ居ルガ、此金庫ハ配當ヲシテ居ナ

イ、洵ニ此金庫コソ本當ノ公益的ノ性質ヲ

具備シテ居ルヤウニ考ヘルノデス、即チ是

ハ何トシテモ社會政策的金融デアルト解ス

ルコトガ、最モ適當デアルト考ヘルノデス

ガ、社會政策的金融ナドト云フヤウナ御取

扱ヲ御當局ハナサツテ居ラレルカ、ドウカト

云フコトヲ伺ツテ置キタイ

○入間野政府委員 勿論是ハ一面ニ於キマ

シテハ、金融機關デアリマスト共ニ、他面

ニ於キマシテハ、サウ云フ點ヲ加味シテ成

立シタ所ノ金融機關デアルト思ヒマス、尙

ホ其他施設ト云フコトニ付キマシテハ、農

村ニ於キマシテハ經濟更生ニ關シテ相當ノ

施設ヲシテ居リマスシ、又都會地ニ於ケル

トヲ主トシナ考ヘテ居リマス爲ニ、大藏省

所管トシテ何等差支ナイト思ヒマス、徒ニ

所管省ノミラ多クシマスコトハ、交渉ニ時

日ヲ要シマシテ、簡易迅速ナ貸付上支障ヲ

ジテ居リマス

カラ考ヘテ、ドウモ大藏省ガ之ヲ專管ナサ

ルト云フコトノ爲ニ、佛作ツテ魂入レナイ觀

ガアルデハナイカト思フ、大藏省ガ專管シ

ナケレバナラスト云フ理由ハ何處ニ在ルカ

分ラヌガ、此種社會政策的ノ金融ニ對シテ

ハ、自ラ之ニ伴フ金融後ノ金融者ニ對スル

或ル程度ノ社會政策的ナ施設指導教化ト云

フヤウナコトガ伴ハナケレバ、本當ニ佛

作ツテ魂ヲ入レルト云フコトノ結果ニハナ

ラナイト私考ヘルノデアリマス、此點ニ付

テ政府當局ハ何等カ御考ヲ持ツテ居ラレマ

セウカ

○入間野政府委員 此機關ハ金融ト云フコ

サレマシタガ、政府當局ハ此種ノ社會政策

的ナ施設ニ對シテハ、特ニ新ニ生レ出タ厚

生省ト云フモノヲ無視スルコトナク、本當

ニ所謂花モ實モアル成果ヲ舉ゲルト云フ見

地カラ御考ニナツテ、今御考ガナイト言明ナ

サツテ居ラル、ノデアリマスケレドモ、將來

本當ニ兩省一體ノ目的ヲ達成スル爲ニハ、

厚生省ト云フモノヲ少クモ共管ノニ加ヘ

ルト云フコトガ、本當ノ目的ヲ達成スル所

以デアルデハナイカト云フコトノ點ニ付

テハ、今後一層政府ガ御考慮ヲ願ヒタイト

云フコトヲ希望致シテ置キマス、此案ヲ出

シテ直チニ移管ノ意思ガアルトカ云フヤウ

ナコトハ恐ラクハ政府ノ立場トシテ言明ガ

出來ナイデセウ、其點ハ御察シ致シマスカ

ハ如何デアリマスカ

○入間野政府委員 只今ノ御尋デアリマス

ガ、其點ニ付キマシテハ、實ハ先般東京市

ノ社會事業ヲヤツテ居ル或人カラモ同様ノ

御意見ガアリマシタ、私共ノ方デモ考ヘタ

ノデアリマス、慈善的ノ意味ヲ持ツテ居ルモ

ノデアリマスレバ、兎ニ角トシテ、金融的

色彩ヲ主トシテ考ヘテ居リマスル此金庫ニ

付キマシテハ、厚生省ニ移管スル意思ハ只

今ノ所全然アリマセヌ

考ニナッテ、此金庫ノ本體本質、目的條件、
内容ノ一切ガ社會政策的ナモノデアルナラ
バ何トシテモ現在新ニ設ケラレタ厚生省ヲ
無視シテ、徒ラニ金融ノミト云フコトニ執
著シ得ラレルモノデハナイト思フ、其點ニ
付テ速ニ政府ノ今後ノ考慮ヲ希望致シテ置
キマス、ソレカラ先程各委員カラモ御意見
ヤ御尋ガアリマシタカラ、私多言ヲ重ネマ
セヌガ、代行機關ハ銀行、無盡、信託等ト
アルヤウデアリマスガ、此點ニ付テハ私モ
ドウモ普ク本當ニ眞相ニ徹シテ行ハレルモ
ノデアルトハ考ヘラレナイ、現代ノ此情勢
ヲ見ル時ニ、市町村ト云フモノガ、或ハ社
會課其他ノ名稱ノ下ニ社會事業ト云フモノ
ヲ行ツテ居ルコトハ御承知ノ通リデアル、市
町村ナキ所ハ何處ニモナイ、能ク融資者ノ
實情ヲ知リ、融資後ノ實情ヲ察知シ、一切
ノ調査完了ヲ全ウスル爲ニハ、此代行機關
ト云フモノヲ、現在全國ニ法制ノ機構トシ
テ存在シテ居ル市町村ト云フモノニ代行セ
シムルコトガ最モ效果的デアシテ、サウシテ
普遍的ナモノデヤナイカト私ハ思フガ、此
點ニ付テノ政府委員ノ御考ハドウデス

ト致シテ居リマス、隨ヒマシテ此金融ニ從
來慣熟シテ居リマス所ノ機關ヲ利用スルコ
トガ、最モ適切デアルト考ヘマシテ、法律
ノ上ニモ銀行無盡會社及ビ市街地信用組合
等ヲ規定致シタ次第デアリマス、然ラバ之
ヲ更ニ町村ニ代行サセル意思ガナイカドウ
カト云フ御尋デアリマスルガ、只今ノ所ニ
於キマシテハ、是等ノ從來其方面ニ貢獻シ
テ來テ居リマスル所ノ機關ヲ利用スレバ、
ソレヲ以テ足ルト考ヘテ居リマス

○入間野政府委員 遺憾ナガラ私ハ高橋委員ト達ツタ考ヲ持ッテ居リマス、自治團體ニ金ヲ貸ス仕事ヲ委ネマスコトヨリモ、從來其方面ニ経験ノアル者ヲ利用スル方ガヨリ良イ效果ヲ擧ゲルノデハナイカト考ヘテ居リマス

マスケレドモ、最上委員モ仰セニナツタ通
リ、現ニ自治體ニ於テ公設質屋ト云フモノ
ヲ社會政策的施設トシテヤツテ、立派ニ實
績ヲ擧ゲテ居ル、ソレ等ノ點カラ見テ、只
今ノ政府委員ノ御説明ハ甚ダ熱意ナイモノ
デアルト考ヘル、御答辯ヲ願ヒタイ

○入間野政府委員 従來ノ金融機關ガ調査
等ノ爲ニ徒ラニ日數ヲ重ネルト云フヤウナ
御言葉デアリマシタガ、其點ニ付キマシテ
ハ昨日モ申上ゲマシタ通り、無盡會社ニシ
マシテモ、近頃ヘ大體ノ所ニ二週間以内デ濟
ンデ居リマス、又信用組合、銀行等ニ於キ
マシテモ、ソレ以内デ濟ンデ居リマス、隨
ヒマシテ私共ハ從來ノ金融機關ガ熱意ガナ
イモノトハ考ヘテ居リマセヌ、現ニ此處ニ
松田サンノ如キ其方ノ權威者モ居ラレルノ
デアリマス、決シテ私ハ從來ノ金融機關ガ
其方面ニ於テ非常ニ怠慢デアルトハ考ヘテ
居リマセヌ、此金庫ノ狙フ所ハ、其從來ノ
金融機關ノ及バザル所デアリマス、隨ヒマ
シテサウ云フ經驗ノアル人ヲ利用シテ行キ
マスレバ此金庫ノ目的達成ノ爲ニハ最モ效
果的デアルト存ジマス、尙ホ經費ノ點ニ付
テ御話ガアリマシタガ、金融機關ニ代行セ
シメマス場合ハ、敢テ新シク人ヲ採用スル
必要ハアリマセヌ、市町村等ニ依頼致シマ

スレバ、新ニソレニ慣熟シタ考ヘマス、私ニ於テモ嵩ムノデハナイカト考ヘマス、私共只今ノ考ト致シマシテ、寧口其方ガ費用ノ點融機關ヲシテ代行セシムルノガ現狀ニ於テ最モ適當デアルト信ジテ居リマス

○高橋委員 重複ニナリマスカラ極メテ結論的ナコトダケデ結構デアリマスガ、代行機關ニ之ヲ代行セシムル其條件ハドウ云フコトニナリマスカ

○入間野政府委員 其地方ニ於ケル代行機關ノ分布其他ヲ考慮致シマシテ適當ニ之ヲ處理シタイト考ヘテ居リマス

○高橋委員 サウ云フ答辯ニシテ答辯ニアラザル御答辯ヲ伺フノハ本員ノ目的デハナイノデス、例ヘテ見ルナラバ、或ル銀行ニ代行セシメヨウト云フ場合ノ條件ノ一ツトシテ、手數料ト申シマスカ、費用ト申シマスカ、サウ云フモノハ何分以上何割以下ト云フヤウナ何等カノ目安ヲ御示シニナラズシテ、アナタハソレデ御答辯ニナルト考ヘラレマスカ

○入間野政府委員 其金融機關ガ庶民金融ニ對シテ最モ留意ヲ持ツテ居ルト云フコトガ條件ノ一ツデアリマス、尙又手數料ト致シマシテハ、庶民金庫ガ使ヒ得ル實費程度

ノ手數料ヲ支給シタイト考ヘテ居リマス、
隨ヒマシテ其額等ニ付キマシテハ、茲ニ業
務費ヲ上げテ居リマスガ、是等ヲ勘案シテ
適當ニ定メタイト考ヘテ居リマス
○高橋委員 ソレデハ其費用ハ實費程度ト
伺ツテ置イテ宜シウゴザイマスネ、重ネテ御
伺致シマス

○入間野政府委員 御説ノ通リデアリマス
○高橋委員 了解致シマシタ、併ナガラ最
後ニ私ハ政府ニ申上ゲテ置キタイ、曩ニ希
望ヲ致シテ置キマシタ此金庫ノ本質ニ鑑ミ
テ、政府トシテ今後御考ヲ願ヒタイ點一ツ
更ニ第二ハ代行機關ノ點デス、ソレハ今御
目論見ニナツテ居ラレル銀行或ハ無盡、信託
ソレドヽ適當ナモノハソレデ宜シウゴザイ
マセウ、併ナガラ此間ニ能ク政府ノ社會政
策的ノ金融デアルト云フコトノ本質ニ照シ
テ、其金融ノ途ガ適正妥當ニ果シテ運用サ
レルカドウカト云フコトニ熱誠ナル検討ヲ
傾ケラレテ、サウシテ今後代行機關ニシテ
甚シキ不都合ノアルモノヲ看取サレタナラ
バ、速ニ此代行機關ニ付テ私ノ主張スル市
町村ト云フモノガイケナイト云フ事情ガ
アツカラ格別、然ラズンバ之ヲモ併セテ御考
慮ノ中ニ入レテ置イテ戴キタイト云フコトノ
希望ヲ申述べテ、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○前田委員長 申上ゲマスガ、先程アナタ
ガ席ニオ出デニナラヌ時ニ、無盡業法改正
法律案モ一括シテ審議ヲ進ムルコトニ相成ツ
タノデアリマス

○松田委員 ソレデハ留保シテアルノト、
無盡業法改正法律案ト、一緒ニシテ宜シウ
ゴザイマスカ

○前田委員長 繰ケテ質疑ヲ願ヒタイノデ
ス

○松田委員 此庶民金庫ニ付テハ、大體質
問ガ三重ニモ四重ニモナサレタ點ガアルノ
デアリマシテ、大體質問ハ盡キテ居ルヤウ
ニ思ヒマスノデスガ、少シ承ッテ置キタイノ
ハ、農林省ノ方ト御交渉ノ下ニ此庶民金庫
ヲ出サレタヤウニ承ッテ居ルノデスガ、農村
農村ト云フコトヲヤカマシク先程カラ委員
ト政府委員トノ間ニ質問應答ガ重ネラレテ
居リマスルガ、豫算委員會ニ於キマシテ、
先月ノ一日ニ、私が豫算委員會ノ質問ノ一
トガ分ッテ居リマシタカラ、是等ノ關係ト農
番末尾ニ於テ、此庶民金庫ノ出ルト云フコ

林大臣ハ答ヘテ言フノニ、庶民金庫ハ農業ノ方ニハ何等關係アリマセヌト言ハレタ、サウ致シマスト先程カラ二三ノ委員ガ御質問ニナッテ居ルコトト、農林省トノ意見方大分違フヤウニ思ハレマスルガ、是ハ尤モ庶民金庫ガ提出サレテカラノコトデハナイノデアリマスルガ、併シ案ハモウ出来テ居ツタノデアリマス、此點ニ付テ大藏省關係ノ方ノハッキリシタ御答辯ヲ願ツテ置キタイト思フノデアリマスルガ、或ハ農林大臣ニ御出席ヲ願ツテ宜シウゴザイマスカ、大分時間が迫シテ居リマスガ、此點ヲハッキリト承ッテ置キタイ

林省ノ方ニハ全然關係ガ無イノダ、斯ウ云フノデス、ソレハサウデヘナイノデハナイデスカ、庶民金庫ト云フ金庫ハ、中小商工業者ノ事業資金ヲ貸出スノト、ソレカラ労働者ニ對スル生計費ヲ貸出スト云フコトガ、目的デハナイカ、労働者ノ中ニハ農業ヲ致シテ居ツテ労働モ致シテ居ル者ガアル、ソレダカラ自然農業ニ關係ヲ持ツデハナイカト思フ、イヤ、アリマセヌ、斯ウ云フ風ナ御答ニナツテ居ルノデス、今モ村ノ方ノ村役場ニ代行セシメタナラバドウカト云フヤウナ御話モ出テ居ルノデスガ、少シ是ハ政府ノ答辯ガ、大藏省ノ方ノ答辯ト農林省ノ答辯ガ、大藏省ノ方ノ政務次官ニ御尋ネ下サイマスレバ分リマス、私ハ念ヲ入レタ、是ハ農業ニ關係ヲ持ツ、所ガ持タヌト云フコトデ持タヌト云フコトニナツタ、速記録ハ議會ノ速記録デスカラ豫算委員會ノ速記録モツモノデスカラ、政府ガ二ツニ答ヘテ居ルト云フコトハヲカシイノデ、御尋スルノデスガ、サウカト云ツテ私ハ是ガアルガ爲ニ本案ニ對スル重大ナル問題ヲ惹起ス考ハ持ツテ居リマセヌ、願クバ農村ノ労働者ノ方ニモ貸出シガ當然出來ルノデス、半農半勞働ト云フ譯デスカラ……ソレカラ漁村ノ方モ是モヤハリ其範圍ニ入レ

テ、成ベク廣イ意味ニ於テ此庶民ノ救濟ニ當ラレンコトヲ希望ハ致シテ居リマスガ、速記録ハサウ云フ風ニナツテ居ル、先程カラ御質問ガアリマスカラ、一寸速記録ヲ取寄テ居リマスカラ、豫メ大藏當局ニ御承知ヲセテ見タノデスガ、ソンナヤウナコトニナツテ居リマスカラ、願ヒタイント、先程カラ農村ノ事ニ付テ御質問ノアリマシタ委員各位ノ方ニ御一考ヲ願ヒタイ、唯サウ云フコトニナリマスト、少クモ農村ノ方ニハ是ガ第一段、第三段ノ方法デナケレバ廻ツテ行カヌデヤナイカト思ハレマス、ソレハ法文ノ上カラ見テモサウ云フ風ニ見エマスシ、農林省モサウ言ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、御承知置キヲ願ツテ置キタイ

昨日私ガ塚本君ノ御質問ニ對シテ牽聯事項ヲ以テ質問致シテ居ル途中、電力案ガ本會議ニ提出サレタト云フノデ、直グ委員會ヲ閉デテ打切ッタノデアリマシタガ、是モ質問シ放シニナツテ居ツテハ、速記録ニ纏リマセヌカラ、其後ヲ御伺致シテ置キタイトト思ヒマス、要ハ銀行局長ノ今マデノ既設庶民金融ノ調査期間ガ十四日位掛ツテ居ル、斯ウ云フコトニ申サレテ居リマシタカラ、十日掛ツテ居ルト云フヤウナコトヲ、内容ヲ

實ハ申上ゲテ居ツタ途中デアツタノデアリテ、成ベク廣イ意味ニ於テ此庶民ノ救濟ニ當ラレンコトヲ希望ハ致シテ居リマセヌ、ソレカラ此庶民金庫ノ方デ御貸付ニナルノニハ手形デ貸ス場合モアルト申サレテ居リマスガ、是ハ極メテ少イ、手形デ取引スル場合ハ——大體大藏大臣ノ言ハレル財產ノナイ人、收入ノ少ナイ人ハ手形ナドデヘ餘ノガ、最モ數カラ言フト多クナケレバナラノガ、此長イ期間ニ於テ割賦返済ヲ爲スベキモノガ、スト思ヒマスガ、其割賦返済ノ時ニ連帶者ヲ一人取ツテ、本人ヲ入レテ三人、斯ウ云フ詰リ連帶證書ヲ作ツテ、貸出ス、其保證人ハ連帶保證トシテ、公正證書デモ作ルノカドウカ、若シソレガ公正證書ヲ作ラセタ結果、延滞デモシタ場合ニハ執達吏ヲ向ナケレバナラヌコトモアリマス、公正證書ヲ作ツテ居ナ時ニハ支拂命令デ行カナケレバナラヌト思ヒマス、非常ニ此手續ガ不便ニナルノデ、其證書ノ取り方如何ニ依ツテハ四分ト云フ補償額ニ影響シテ來マス、ソレデ其點ヲ伺ツタノデアリマス

○入間野政府委員 金額其他其人ノ事情ニ依リマシテ、或ハ公正證書ヲ取ル場合モアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於キマシテハ、手形若クハ私署證書ヲ使用シテ行キタイト

考ヘテ居リマス

○松田委員 大體ソレデ満足ヲ致シテ置キ

マス、ソレカラ俗ニ申シマスルト云フト、

先ヅ庶民金庫ノヤウナ所カラ金ヲ借リタラ、

オ父サント連レ立ツテ宮詣リヲスルト云フ

ヤウナ心持ニナリ易イノデアリマス、サウ

云フ風ナコトニ是ガナツテ來ルト云フト、此

四分ノ補償デハ或ハムヅカシイヤウニナル

カモ分リマセヌ、デ其點ハ屢、局長モ答ヘラ

レテ居ル如ク、慈善事業デハナイノダト云

フコトヲ申サレテ居リマスガ、庶民金庫ガ

出來タカラト云ウテ、庶民階級ニ對スル金

融上ノ便宜ヲ得セシムルガ爲ニ、又一方業

務ニ怠慢ナルヤウナコトモ惹起サザルヤウ

ニ、御注意ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリ

マス
ソレカラ引續キマシテ無盡ノ方ノ質問ヲ致シタイト恩ヒマス、私實ハ無盡ハ名前ヲ出シテ居リマスガ、自分トシテハ事務ヲ取扱ツテ居リマセヌ、責任ハ持ツテ居リマスケレドモ、人ニ任シテアルノデアリマス、ソレデ實際近頃ノ無盡ノ成績ト云フモノハ見ナイノデアリマスカラ、大藏省ノ方カラ参考ニ調べテ貰ツタモノガアリマスガ、無盡會社ハ全體ノ此契約高ガ約十七億九百八十

二万五千圓アル、ソレデ彼此レ六億七千

圓ノ金ヲ貸シテ居リマス、ソレデ此貸シタ

金ガ取レナイノモ隨分アリマシテ、彼此レ

一千万圓以上ノ缺損ニナツテ居リマス、先期

ト申シマスレバ、十二年度ノ上半年ト思ヒ

マスガ、ソレニハ其一期間ダケデモ百六十

七万一千圓、一期間六箇月ノ間ニ此缺損ガ

出テ居ルト云フヤウナ譯デアリマス、斯ウ

云フ風ナ成績ヲ以テ、庶民階級ノ金融機關

ト致シマシテ隨分是ハ勵イテ居ルノデアリ

マス、此實績ハ今申上ゲタ如クデゴザイマ

ス、隨テ此無盡法ニ對スル此改正案ノ如キ

ガ、出テ來ルト云フノハ、是ハ時代ノ要求

デアリマス、旁々吾々カラ申シマスト、是

ウカト思ハレルノデアリマス、所デ政府當

局ニ御伺ヒ致シテ置キタイトノデアリマスル

ガ、元來無盡ト云フモノハドンナモノカト

云フト、我國獨特ノ金融機關デゴザイマシ

テ、元々ハ隣保共助ノ精神ニ基イテ、或ル

ガ、互ニ助ケ合ラスルト云フ、是カラ起ツテ

カ含マレテ居リマスガ、一體大藏當局ハ隣

保共助ノ精神ニ基イテ、此小サイト云ウテ

モ、極メテ一小部分ノ隣近所ト云フ所ノ者

ガ、互ニ助ケ合ラスルト云フ、是カラ起ツテ

来タ無盡本來ノ使命ト云フモノガ今日營業

化シテ來テ以來ト云フモノハ、斯ウシテ隣

保共助ノ精神ガ薄ライデ、商賣のトナツテ、

ニ代ヘラレヌト云フ間柄ノ交際カラ、一軒

延滞スルナラバ執達吏ヲ向ケテ直グニ取立

ヲスルト云フヤウナコトニナツテ來テ居ル

ノ家カラ或ハ病人ガ出來タトカ、不幸ガ起シ

爲ニ、其土地ニ居ラレナクナル、或ハ夜逃

ゲヲシテ行カナケレバナラヌト云フヤウナ

時ニ、其周圍ノ人ガ隣保共助ノ精神ニ基イ

テ、ソレヲ助ケヨウデヤナイカト云フノデ、

アリマス

○入間野政府委員 只今松田委員カラ無盡ノ方法ヲ毎年二回トカ、或ハ月々トカト云

ソレヲ以テ先ヅ債務ノ整理ヲ爲シテ、返済

ノ方法ヲ每年二回トカ、或ハ月々トカト云

ノ方法ヲ毎年二回トカ、或ハ月々トカト云

命ガ斯ウシテ薄ライデ來テ居ルヤウナコトノ爲ニ、此改正案ニ向ツテ、政府ガ意ヲ用ヒテ居ルカドウカ、此點ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

ナラナイヤウニ、大キナ資本ノ會社ヲ作ッテ、全ク無盡本來ノ使命ヲ沒却シテ居リ、其貸付ケタ金ハ隨分高利デアル、而モ一回デモ延滞シタ時ハ連帶者諸共差押ヲサレテモ仕方ガナイト云フヤウナ公正證書ヲ作ッテ、若シモ一回デモ怠ッタナラバ——マアソソナ者ハ餘リアリマセヌケレドモ、少クトモ二三回滯ツタ者ニハ、直グニ執達吏ヲ差向ケテ、連帶者諸共財產ノ差押ヲシ、甚シキハ競賣期日ニ社員ガ出掛ケテ行ッテ、物ヲ賣立てルト云フヤウナコトニナツテ來タ、隣保共助ノ精神カラ成立ツテ居ル無盡ガ營利化シテ來マシテ、人情ヲ無視シ、德義ヲ無視シ、理窟ヲ聞カズシテ證書面ニ依ツテ取立ヲスルガ如キ現在ノ有様ハ、私ハ洵ニ遺憾ニ思フモノデアリマス、ソレハ現實ノ實際ヲ御調べ願ヒマスレバ直グ分リマス、東京ニ於ケル大森ノ大明無盡ニシテモ御承知ノ如ク資本金ハ極メテ僅カデアル、所デ其無盡ノ成績ヲ御覽ニナルト能ク分リマスガ、菊池ト云フ人ガ營業ヲヤツテ居ル、是ハ有名ナ人デ、嘗テ大藏省ニ無盡ノコトヲ聞キニ行クト、大森ノ菊池君ニ一通リ聞イテ吳レト大久保銀行局長ガ答ヘタト言ハレル位デアツテ、小サイ無盡デハアルガ、大森ヘ行ッテ御調べニナレバ事實サウデアルカラ分リマ

ス、「アナタノ方へ大明無盡ト取引ガアリマスカラ、信用致シマセウ」或ハ或ル者ヘ「馬鹿ニスルナ、俺ハ大明無盡ト取引ガアルゾ」ト云フヤウナ譯デ、大明無盡ト關係ノアルコトヲ信用ノ上デ誇ツテ居ルト云フノガ實際ノ事實デアル、ソレカラ關西地方ニ於キマシテハ浪花無盡ト言ツテ、資本金六万圓デ、拂込一万五千圓ノ無盡ヘ會員ガ押スナ／＼デ行ク、是ハ人ガ代リマシタガ、此ヤリ方ト云フモノハ無盡界ニ範ヲ示シテ、氣ノ毒ナ人ガアッタナラバ、ズットソレヲ調ベニヤツテ其人ニ對シテ貸付ヲシテ、而モ十分辨済ノ出來得ルヤウニシテ金ラ辨済セシムル、斯ウ云フヤウナコトデ成績ヲ擧ゲテ居ル例ハ、マダ他ニモアリマス、中ニハ資本金ヲ何百万圓ト持ツタ無盡會社モアリマスガ、是等ノ成績カラ見マスレバ、庶民階級ヲ眞ニ救ツテ居ルモノハ、資本ノ小サイ無盡會社デ、大キナ銀行ノヤウナ大會社ノ無盡業ト云フモノハ、今申シマスル隣保共助ノ精神ヲ沒却シテ、全ク高利貸ノ如キ振舞ヲ取ツテ居ル、ソレガ爲ニ此無盡ト云フモノハ何トナク世間ノ信用ヲ得ラレヌデ、無盡會社ノ店ハ地方ニ行キマシテモ裏町ニ無盡會社ノ看板ヲ掲ゲテ居ル、無盡會社ハ憎ムベキモノデアル、無盡會社ハ貧乏人ライヂメルモノデア

家ハ成立タヌト云フ風評ガ今デモ盛ンデアルト云フコトハ、全ク大企業無盡會社ガ惡集會所ノ中ニ立籠ツテ、決議ヲシテハ大藏省ニ交渉スル、サウシテ大藏省ガソレヲ全國ノ無盡會社全部ノ意思ナリト御信用ニナツテ居ルコトハ大ナル間違ヒデアル、昨日塚本君カラモ御話モアリマシタガ、成程金額ハ多イニ越シタコトハアリマスマイガ、サウ云フ大キナ會社デハ一口デ三千圓、五千圓ト云フヤウナ大キナ無盡ヲ作ッテ、一億ト云フ契約高ヲ一つノ會社デ持ツテ居ルノガアル、サウ云フヤウナ會社ヘ行ツテ見レバ直グ分リマスガ、サウ云フ所デ隣保共助ノ精神ヲ以テ營業ヲシテ居ルカドウカト云フト、マルキリ利鞘稼ギノ金貸デアル、私モ永イ間此事業ニ關係シテ居リマシタノデ、或ハ松田ガ斯ウ云フヤウナコトヲ言ッタト云フコトニナレバ恨マレルカモ知レマセヌガ、是デハイカヌ、現在大キナ無盡ハ皆高利貸ニナツテ居ッテ、眞ニ隣保共助ノ精神ヲ尊ンデ營業シテ居ルノハ地方ノ小サイ無盡デ、ソレガ全ク庶民ヲ救ツテ居ルノデアリマス、ソデハイカヌ、現在大キナ無盡ハ皆高利貸ニナツテ居ッテ、眞ニ隣保共助ノ精神ヲ尊ンデル、無盡會社ノ金ヲ一遍借リタナラバ、其ノ爲メデアル、其大キナ無盡會社ガ全國無盡會所ト云フモノヲ形作ツテ、其全國無盡會所ノ中ニ立籠ツテ、決議ヲシテハ大藏省ニ交渉スル、サウシテ大藏省ガソレヲ全國ノ無盡會社全部ノ意思ナリト御信用ニナツテ居ルコトハ大ナル間違ヒデアル、昨日塚本君カラモ御話モアリマスマイガ、サウ云フ大キナ會社デハ一口デ三千圓、五千圓ト云フヤウナ大キナ無盡ヲ作ッテ、一億ト云フ契約高ヲ一つノ會社デ持ツテ居ルノガアル、サウ云フヤウナ會社ヘ行ツテ見レバ直グ分リマスガ、サウ云フ所デ隣保共助ノ精神ヲ以テ營業ヲシテ居ルカドウカト云フト、マルキリ利鞘稼ギノ金貸デアル、私モ永イ間此事業ニ關係シテ居リマシタノデ、或ハ松田ガ斯ウ云フヤウナコトヲ言ッタト云フコトニナレバ恨マレルカモ知レマセヌガ、是デハイカヌ、現在大キナ無盡ハ皆高利貸ニナツテ居ッテ、眞ニ隣保共助ノ精神ヲ尊ンデ營業シテ居ルノハ地方ノ小サイ無盡デ、ソレガ全ク庶民ヲ救ツテ居ルノデアリマス、ソ

トカ、資本ヲ殖ヤセト云フヤウナコトヲ申コトニ付テモ修正シタラドウカト言ハレタガ、ソレハイケナイト云フコトハ實際サウデアル、ソレデアルカラ先程カラ資本ノ來タ十六會社ノ中ニハ斯ウ云フコトガアル、改正法ニ基イテ拂込ヲ要スルガ、拂込ヲシタナラバ配當ヲ三倍モ四倍モシナケレバナラヌ、ソレガ困ル、増稅ガ困ル、帳面モ總テ變ヘナケレバナラヌ、其金ガナケレバ拂込ミマスガ、ソンナモノヲ拂込ムノハ厭ハナイガ、金ハアリ剩ツテ居ル、郵便貯金ヨリモ利ガ宜イカラト言ツテ、抽籤デ中ッタ金ハ取ツテ吳レナイ、サウ云フ譯デ金ハドレダケ剩ツテ居ルカ分ラヌ、關東式ト關西式トニツアッテ、關東式ハサウデハアリマセヌガ、關西デハ金ハザラニ剩ツテ居ツテ、其金ノ處分ニ困ツテ居リマス、是ハ能ク御承知ノコトデアラウ、ソレデ其運用ニ付テハ大藏省モ隨分御考ヘ下サツテ居ルヤウナ譯デアル、金ハ剩ツテ居リ、世間ノ信用ハタップリアル、何處ニ拂込ム必要ガアルカ、拂込ムノハ構ハヌ、サウ云フ會社ハ「バラソス」ノ上デ見ルト隨分積立金ヲ持ツテ居リマシテ、ソレヲ配當スレバ何モ拂込ニハ心配アリマセヌガ、

拂込ンデモ儲テ其金ラドウシテ使フカ、ト
テモ今配當シテ居ル率ニ其金ガ廻セナイ、
ソレダカラ困ルト云フノト、地方々々ニ於
テ無盡ノ使命ヲ沒却シタル金貸同様ノ大營
業者ト、昔ヨリノ隣保共助ノ精神ヲ沒却セ
ズ、眞ノ無盡ノ使命ヲ完全ニ果シテ居ル者
トノ間ニ鬪ヒガアル、私ハ本年一パイデス
ウ云フ社會ヲ引退スルコトニナッテ居リマ
スカラ、一ツ大藏省ハ十分ニ考ヘテ戴キタ
イ、大キナ家ヲ立派ニ建テ、重役ハ悉ク
「モーニング」ヲ著テ自動車ヲ置イテヤルノ
ハ無盡會社ノヤルコトデハナク、銀行ノス
命デアル、併シ是ハ大藏省ハ分ラナケレバ
ナラヌノデアリマスガ、今資本ガドウシテ
モ五万圓ニシナケレバナラヌト言ハレル其
理由ガ私ハ一寸解シ兼ネルノデゴザイマス、
私ハ之ニ反対デヤゴザイマセヌガ、今申シ
タヤウナ摩擦ガ是カラ段々大キクナッテ來
ルト困ル、御意見ダケ承ッテ置キタイト思
ヒマス

○入間野政府委員 資本金ノ小サイ無盡會
社デアリマシテ其經營ノ堅實ナルモノガア
ルト云フコトニ付キマシテハ、具體的ニ何
處々々トハ申上ゲ兼ネマスガ、御話ノ通り

デアリマス、然ルニ今回無盡業法第四條ヲ
改正致シマシテ其資本金額竝ニ拂込資本金
額ノ最低限度ヲ引上ゲルコトニ致シマシタ
ノハ、ニ無盡會社ノ對外信用ヲ向上サセ
ト即チ無盡會社ハ大正四年本法制定ノ當初ヨ
リ見マシテハ、非常ナル發達ヲ遂ゲテ居リ
マス、即チ大正五年末ニ於キマシテハ無盡
會社ノ數ガ百三十六、拂込資本金額ガ二百
五十餘万圓、ソレガ其後十年ヲ經過致シマ
シタ昭和元年末ニ於キマシテハ、無盡會社ノ
數ガ二百四十三、拂込資本金額千百二十餘
万圓、更ニ又昨昭和十二年ノ上期末ニ於キ
マシテハ、會社ノ數ガ二百四十八、其拂込資
本金ガ千八百二十餘万圓ニ相成ッテ居リ
マスルガ、一方給付金契約高ハ大正五年
末ニハ三千餘万圓デアッタモノガ、昭和
元年末ニハ七億四千五百餘万圓ニナリ、
更ニ昭和十二年ノ上期末ニハ十六億三千八
百餘万圓、非常ナル躍進ヲ致シマシテ、
拂込資本金額ニ對シマシテ實ニ九十倍
ニ近ク相成ッテ居ルノデアリマス、事業經營
ノ規模ニ對シマシテ如何ニモ擔保ガ薄弱デ
アリマスルガ爲ニ、世間デハ無盡會社ノ何
タルカラ理解シナイデ何トナク之ヲ不安視
スル人モ往々アリマスノデ、斯ノ如キ誤解

ノ爲ニ庶民金融機關トシテ貢獻シテ居リマ
スル無盡業ノ將來ノ發展ニ多少ナリトモ惡
イ影響ヲ與ヘマスルコトハ當局トシテ沟ニ
遺憾デアルト存ジマシテ、其資本金額竝ニ
拂込資本金額ヲ增加スルコトシテ、以テ
ヘタノデアリマス、尙ホ拂込資本金額ナド
ヲ増シマスルコトハ、俄ニ之ヲ行ハセマス
ルコトハ、非常ニ拂込等ニ不便ヲ感ズル向
ガアッテハイケナイト考ヘマシテ、附則ノ
第二項ニ「本法施行前免許ヲ受ケタル無盡
會社ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノニ
付テハ第四條ノ改正規定ニ拘ラズ本法施行
後五年ヲ限リ仍從前ノ規定ニ依ル」ト規定
致シマシテ其間ノ緩和ヲ圖ッタノデアリマ
ス、今回ノ資本金額ノ増額ニ付キマシテハ、
ニ無盡會社ノ對外信用ノ向上ト其事業ノ
健全ナル發展ヲ希ツタニ過ギナインデアリ
マスルガ、一方給付金契約高ハ大正五年
末ニハ三千餘万圓デアッタモノガ、マニア
ノ譯モアル、ト云フノハ斯ウナッテ來ル
ノデヤナイカ、今ノヤリ方デハイカヌ、此
改正法ヲ出ス前ニ一ツ大藏省デ出シテ貰ハ
ナケレバナラヌコトガアッタノハ、一千圓ノ
無盡ヲ取ルノニ法律ノ規定ハ三割トナッテ
居リマス、今デハ三割取ッテ居ル無盡會社
ハ餘リアリマセヌ、アリマセヌガ、マニア
割取ッテ居ルノモアルシ、法律ノ範圍ヲ潜ッ
テ裏面デ取ルノモアリマス、サウスルト千
圓ノ金ヲ取ルノニ三百圓競ツタラ残リハ七
百圓、ソレデ調査費ヲ差引イテ第一回ノ拂
込金ヲ取ル、斯ウ云フノデス、サウスルト

スルヤウナ譯ニナッテ來テ、其處ハ少シ私ノ
理解ノ出來ナイ所モアリマスケレドモ、併
シソレハ信用ヲ高メル上ニ付テハ資本ノ多
キニ越シタコトハ恐ラクナカラウ、ケレド
モ資本ハ大キケレバ大キイ程斯ウ云フ害ガ
アルト云フコトヲ聞イテ貰ヒタイ、資本ガ
サウスルト義理ヲ缺イタ貸付ヘ出來マセヌ、
全ク東京市中、大阪市中トナッテシマフ、拂
込額ガ、資本額ガ今ノ最低カラ言ツテ三倍
ト五千圓、急ニサウヤルコトハ宜イカ悪イ
カハ別問題トシテ、餘計資本ヲ持ツコトハ
ヤハリ會員ニ不親切ナコトニナッテ來ル
ツノ譯モアル、ト云フノハ斯ウナッテ來ル
ノデヤナイカ、今ノヤリ方デハイカヌ、此
改正法ヲ出ス前ニ一ツ大藏省デ出シテ貰ハ
ナケレバナラヌコトガアッタノハ、一千圓ノ
無盡ヲ取ルノニ法律ノ規定ハ三割トナッテ
居リマス、今デハ三割取ッテ居ル無盡會社
ハ餘リアリマセヌ、アリマセヌガ、マニア
割取ッテ居ルノモアルシ、法律ノ範圍ヲ潜ッ
テ裏面デ取ルノモアリマス、サウスルト千
圓ノ金ヲ取ルノニ三百圓競ツタラ残リハ七
百圓、ソレデ調査費ヲ差引イテ第一回ノ拂
込金ヲ取ル、斯ウ云フノデス、サウスルト

タモノトシテ返シテ行ク、是ハ成程無盡會社ハソレハ貢獻ハ致シテ居リマス、貢獻ハ致シテ居リマスガ、如何ニ便利ダト言ヒナガラ、サウ云フ法律ヲ其儘置イテ置イテ、拂込ヲ餘計ニセイト云フコトハ、是ハ無盡會社ノヤリ方カラ言ウタラ研究ガ足ラヌ、コンナヒドイコトハアリマセヌ、千圓借ルノニ三百圓棒引キニシテシマッテ、其他調査費ナドヲ引イテ六百五十圓シカ借リラレナイト云フコトハ、ソレハヒドイノデス、大體是ハ三分五厘ノ公債ガ出テ居ルノデスカス、私モ古イ頭デ分リマセヌガ、法律モサ改正ハ先ダト思フ、今三割トナッテ居リマス、ウナツテ居ルト思ヒマス、範圍ハ決ツテ居ル、併シ實際ハ三割ヤツテ居ツテハ高利貸ダト言ハレルノデ、表面ハヤツテ居ラヌケレドモ、法律ガ生キテ居ルカラ裏面デ取ツテ居ル、ソレデハイカヌカラ、ソンナコトノ改正ヲ先ニヤツテ、斯ウ云フ僅カバカリノ資本ノコトハ後ノコトナンデス、或ハ之ヲ眺メテ、政府ガ公債ヲ持タセル爲ニ保険會社ヘ手ヲ付ケタ、無盡會社ハ十七億圓モ契約高ガアツテ、七億圓ヲ貸シテ居ル、金ハ餘程殘ツテ居ル、コイツダト云フノデ眼ヲ付ケテ之ニ公

居ル、大藏省ノ肚ハソソナ所ニナイノデセ
ウ、ナイノデセウケレドモ、ドウモ考ヘテ行
クトソソナコトニナリハセヌカト思フノデ
ス、ソレデ今申シマシタノヲ聞キ間違ヘナ
イヤウニシテ戴キタイ、法律ガソレヲ改正シ
テ居ラヌガ爲ニ、表面ハ三割取ッテ居リマセ
スケレドモ、其取ルベキ範圍ガ決ツテ居リマ
スカラ裏面デヤッテ居ル、表面デヤラナイデ
裏面デヤッテ居ルガ、裏面デヤッテ居ルト云
フノハ御分リニナラヌデセウ、裏面デヤッテ
居ルト云フノハ斯ウ云フノデス、缺口ト云
フモノノ處理、此時ニ裏面行爲ガ行ハレル、
例ヘバ十回掛ケテ放ツタラカシテ置ク、ソ
レヲ缺口處理シテ行ク時ニ十回掛ケテモヤ
ハリ三百圓、サウシテ十回分ヲ差引イテシ
マフ、サウスルト殘ル金ハ千圓ノ金デザット
四百四五十圓シカ持ツテ行ケナイ、ソレデ千
圓借リタ勘定デ是カラ掛ケテ行ク、斯ウ云
フノデスカラ、ソレヲズット計算シテ見マス
ト二十七割ニナル、コンナコトヲヤッテ居ル
者モアルコトヲ聞イテ居リマス、第一私ハ
籤デヤツテシマフ、斯ウ云フ風ニ御改正下サル
此入札ト云フモノヲ一割位ニスル、或ハ抽

○入間野政府委員 只今ノ入札ノ手取金ノ問題デアリマスルガ、是ハ一昨年ノ十月ニ通牒ヲ發シマシテ、八割以上ト云フコトニ致シテ居リマス、尙ホ缺口處理ノコトニ付キマシテハ、餘リヒトイコトヲシテ居ルヤウナモノガアリマス場合ハ検査ノ時篤ト注意ヲ致シタイト思ヒマス

○松田委員 ソレハ今モ私ガ申上ゲタノデアリマシテ、今ハ三割ハ表面ハ取ッテ居ラヌト云フノデアリマスケレドモ、法律ハ残ツテ居ルカラ、裏面デヤツテ居ル、其大藏省ノ検査デスガ、今検査ノ話ガ出マシタガ、検査ハ表向ニ叱リ付ケテ居ルガ、中々裏面ノ調査ガ十分ニ行キ涉ツテ居ラヌノデアリマス、今ルガ、是ハ絶対ニ見付カリマセヌ、ソレハナゼカト云フト、其内譯ヲ出セト云ツテモソコハ手加減ハドウデモヤリ得ル、是ハ逆モ行キマセヌ、ソレダカラ法律ヲ改正シテシマツテ一割ニシテシマヘバ宜イ、或ハ大藏省ノ方ハ専門家ノ御方ガオ居デニナルカラ、

タ方ノ方ガズット近來ノコトニ付テハ詳シイノ
デセウケレドモ、無盡ハ糶金ガアルノデ宜
是デ所謂無盡ト云フモノハ花無盡ト云フノ
デ、是ハ日本獨特ノ金融機關ダ、斯ウ思ハ
レテ居ルカ知レマセヌ、ソレモアルカモ知
レマセヌガ、ソレモ程度問題デアル、コン
ナコトヲ自分デ無盡會社ニ關係ガアリナガ
ラ無盡會社ノ不利ニナルヤウナコトヲ自分
デ言ヒ出スノハ工合ガ惡イガ、大藏省ガ此
點ニ付テ改正法デモ出シテ吳レルノデヤナ
イカト思ツテ居タガ、今度ノニモ落チテ居
リマス、ドウデスカ此改正法ヲ之ニクッ付
ケテ戴ク譯ニハ參ラヌデセウカ、是ハ庶民
ノ爲デゴザイマスカラ……

○入間野政府委員 入札ノ手取金ノ割合ノ
問題デゴザイマスルガ、是ハ御説ノ次第モ
アリマスガ、敢テ法律ノ改正ヲ要シナクテ
モ出來ルコトト存ジマス、一ツ篤ト研究シテ
見タイト思ヒマス、尙ホ検査ノコトニ付キ
マシテ御注意ガアリマシタガ、將來形式ニ
墮セズ、實質ニ付テ検査スルヤウニ進メタ
イト存ジマス

○松田委員 マアソレハ改正シタト同様ニ
一ツ御監督ヲ願ヒマシテ、一割位デヤレル

コトニシテ戴キタイ——是モ速記録ニ載ルコトアリマスカラ、ソレデ満足致シテ置キマス

次ニ合併デゴザイマスガ、ドウモ合併ヘ中々シマセヌノデス、或ハ此間モ言フ如ク、無盡會社モ紳士的ニナッテ來テ、隣保共助ノ精神ヲ忘レテ、金融機關ダト云フノデ、大キナ立派ナモノヲ建テ、中デ重役ガ立派ナ「モーニング」ヲ著テ安樂椅子ニ坐テ居テ、何ガ是ガ庶民金融機關デスカ、行ツテ見ルト驚ク、サウ云フノデスカラ、其地位ヲ失ヒタクナイト云フノデ、ドウシテモ合併ヲ嫌ガッテドウニモナラヌノデスガ、是ハソンナコトヲ言ツテ居ツタナラバ、結局無盡會社ガ庶民金融機關ドコロノ話ヂヤナクテ、庶民階級ヲ虐メルヤウナコトニ變化シテ來テハイケマセヌカラ、大藏省ノ方デハスウ云フ意見ガナイカト云フコトヲ確メタイ、大藏省ガ直接無盡集會所トカ其他ノ方カラ連絡ヲ御取リ下サレテ、ソレカラ地方長官ニ達ヲヤッテ戴キマシテ、地方長官ガ其地方々々ニ於テ直接出掛ケテ行ツテ交渉ヲシテ戴クト云フヤウナ便宜ナ方法ヲ執ヅテ戴イテ、膝詰デ促進シテ戴カナケレバ、逆モ此合併ハ促進致シマセヌ、ソレカラ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスガ、大正四年

頃カラ銀行ノ合併ガ始マッテ、中々意ノ如ク行カナンダノデ、大藏省ガ検査官ヲ派遣シテ、キツイ検査ヲシテ威シマクテ、其検査ガ恐サニ合併シタト云フ事實ノ例ハ舉ゲマスレバ二十四五ニナッテ居リマス、ソコデ今度合併ヲスルノニ、無盡會社ガ嫌ガッテ居タラ、検査デキツイコトヲヤッテ、叱リ付ケテ恐ロシガラセテ合併サスト云フヤウナ舊式ナコトハナサラナイト思ツテ居リマスケレドモ、是モ念ノ爲ニ申上ゲテ置カヌト、銀行局長モ長イ間銀行局長ヲナサツテ居ラヌノデ、何レ大藏大臣ニモ進級サレテ行ク時モアルノデアリマスカラ、アナタノ御意見モ承ツテ記録ヲ作ツテ置キタイ

○入間野政府委員 合併ニ關シマシテハ、從來手續ノ煩瑣ナドノ爲ニ其實ガ擧ツテ居ラナイコトノアルノハ私共モ能ク諒承シテ居リマス、併ナガラ此會社ノ合併等ニ付キデ此代行ヲ受ケテ喜ブ所ノ無盡會社ト云フモノハ、關東式ノ無盡テ、而モ東北地方トカ北海道トカ北ノ方ニ向イタ所ハ、金利ガ高イカラ八分デ代行ガ行ヘマスケレドモ、

先程申シマス通り、北へ北ヘト行ツク所ハ金利ガ高イカラ行ヘマスガ、少クトモ關西地方ハ代行ハ殆ド出來マセヌ、又出來ヌバカリデハナイ、金ガ餘ツテ居ルノダカラ金ノ融通ヲ受ケルコトモナケレバ、又代行ヲヤルアツテ、南ニハ效果ガ擧ラヌト云フコトヲ、マシタガ、是ハ斯ウ云フコトニナッテ居ル、

代行々々ト云フテ先程カラ大分御話ガアリ

セシメルト云フヤウナコトハ致シタクナイ

ト存ジテ居リマス

○松田委員 ソレカラ代行デアリマスガ、日本ノ金利ハ、東海道沿線ヲ中心ニシテ、マシタガ、是ハ斯ウ云フコトニナッテ居ル、

マシタガ、是ハスウ云フコトニナッテ居ル、ソレカラ北海道ヘ行ク程高南へ行ク程又北ヘ行ク程金利ガ高イ、是ハスケレドモ、是モ念ノ爲ニ申上ゲテ置カヌト、銀行局長モ長イ間銀行局長ヲナサツテ居ラヌノデ、何レ大藏大臣ニモ進級サレテ行ク時モアルノデアリマスカラ、アナタノ御意見モ承ツテ記録ヲ作ツテ置キタイ

セシメルト云フヤウナコトハ致シタクナイ

ト存ジテ居リマス

利ガ高イカラ行ヘマスガ、少クトモ關西地

方ハ代行ハ殆ド出來マセヌ、又出來ヌバカリ

リデハナイ、金ガ餘ツテ居ルノダカラ金ノ融

通ヲ受ケルコトモナケレバ、又代行ヲヤル

必要モナイト云フコトニナルノデス、ソレ

デ行ヲ受ケテ便利ナ所ハ北ノ方面ダケデ

アツテ、南ニハ效果ガ擧ラヌト云フコトヲ、

マシタガ、是ハスウ云フコトニナッテ居ル、

セシメルト云フヤウナコトハ致シタクナイ

ト存ジテ居リマス

○松田委員 ソレカラ代行デアリマスガ、

日本ノ金利ハ、東海道沿線ヲ中心ニシテ、

マシタガ、是ハスウ云フコトニナッテ居ル、

モノハ三百圓デ耀ツテ居ル、事實ハ今二割位カラ耀ツテ居ル、ソレ位カラ耀ツテ居ラヌト、落シテ之ヲ借りニ掛ツタ、所ガ連帶人ナクテ借りラレヌ、掛ケテハ居ルガ借りテハ呉レスト云フノデ、結局ソレヲ宙ブランデ取ツテシマフ者ガアル、ソレハ缺講ト云フモノデス、ソレガ二百圓デ落札シテ居ルコトヲ見テ居リマスカラ、之ヲ持ツテ行ツテ、ドウダ、モウ五十圓出セバ此權利ヲ譲ツテ貰ツテヤルガ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ツテ、會社モ知ラズ、大藏省モ知ラズ、落札シタ人モ知ラヌ、唯借ル人ト募集員トノ間デ五十圓儲ケルト云フ例ガ是ハ大分アリマス、斯ウ云フヤウナコトデハ是ガ何處ヘ實際掛ツテ行ク金カト云フト、金ヲ借ル庶民階級ノ者ノ負擔ガ重課シテ來ルコトニナル、ドウモイカヌコトダト思ツテ居リマスケレドモ、私モ斯ウ云フコトヲコンナ機會デナケレバ言ヘマセヌノデ申上ゲテ置クノデスガ、此募集員ヲ一ツ取締ルト云フ何カ御達デモシテ戴ケマセヌカ、コンナコトヲ言ヘバ十ヤ二十ザヤアリマセヌ、サウンシテ料理屋ヘ行ツテ抽籤ヲスル、抽籤ヲシテ當ルトソコヘ寄ツテ飲食シタ費用ハ當ツタ人ノ負擔デアル、又入札ヲスル場合ニハ、入札ヲシタ人ガ千圓ノ無盡ヲ八百圓デ落シタ、其人ハ

實ハ要ラナイ、要ラナイカラ他ノ人ニ譲ッテ
ヤルト云フ時ニハソコデ飲食ヒシタ費用ハ
譲ッテ貰ッタ人ガ拂フ、是ハ速記録ニ詳シク書
イテ置イテ下サイ、ソレヘマア庶民金融機關
トシテ無盡ノ眞面目ナ會社モアツテ、眞ニ眞
面目ニ庶民金融機關デアルト云フコトヲ胸
ニ置イテ、心ニ前垂ヲ掛ケテ營業致シテ居
ル無盡會社モ澤山アリマスガ、今言ッタヤウ
ナ無盡ガアリマスルカラ、此無盡會社ノ信
用ト云フモノハ資本ガ何倍ニ殖エテモ信用
ノ回復、無盡ノ更生ト云フコトガ出來マセ
ヌ、或ル漁村デ、執達吏ヲ馬車ニ十六人モ
乗セテ、本職ト代理ヲ伴レテ行シテ、片端
カラ押ヘタト云フノデアリマス、サウシテ
大正七年デアリマスカ、米騒動ノ時ニ其村
ノ者カラ、押ヘラレタコトヲ意趣遺恨ニ
思ッテ、暴レラレテ叩キ壊サレタ無盡會社ガ
アル、デスカラシテ、無盡會社ハ憎ムベシ
ト云フコトヲ遺言ニ書イテ居ツタト云フ位
デアル、ソレハ皆デハアリマセヌ、ホンノ
稀ニサウ云フ會社モ見ルノデス、ケレドモ
斯ウ云フモノヲ退治シテ貰ハナケレバ、全
體ノ無盡會社ト云フモノハ信用ガ得ラレ
セヌ、是ハ自分ノコトヲ申上ゲテ甚ダドウ
モ遺憾デアリマスシ、濟ミマセヌデスケレ
ドモ、私モ松田ハ無盡會社ニ關係ガアルト

ソレハ洵ニ困リモノデス、是ハ實際デゴザイマス、ソレデ庶民金庫ヲ作ラレテ、無盡會社ヤ、信用組合ヤ、產業組合其他庶民金融會社、若クハ機關ノ行渉ラザル所ヲ庶民金庫デ救ウテヤルト云フ御考デ以テ此度庶民金庫ヲ作ラレルノデアルカラ、折角ノ此庶民金庫ニ依ツテ庶民階級ガ事實ニ於テ救ウテ戴ケルヤウニ希望スルト同時ニ、私ハ無盡會社ト云フモノノ發達モ希望致シマスガ、無盡會社ト協調ヲ願ヒマシテ、此庶民金庫ガ無盡會社ヨ庶民金庫ノ如クアレト云フ範ヲ示シテ戴キタイ、ソレト同時ニ取締ヲ嚴格ニシテ戴イテ、色々甘言ヲ弄シテ會員ヲ募集シ、募集シタナラバ無理ニ金ヲ貸シテ、一回カ二回滞ッタナラバ直グニ執達吏ヲ向ケテ取上ゲル、是程酷イ話ハナイ、二回滞ッテアト四十八回残ッテ居ルト云フノニ、四十八回ハ借りタ人、使ッテ居ル人ノ掛戻金ヲ全部取ッテシマフ、サウシテ其金ハ何處カニ貸スノデスカラ、二重三重ニ廻轉スルノデスカラ是ハ餘程ノ利息ニナル、ソシナコトガ事實多クアルノデアリマスカラ、ソレヲ一つ御取締ヲ厳重ニ一つ願ヒタイノト、ソレカラモウ一つ申シテ置キマス、無盡會社ハ保險會社ノソレト同様、契約高ノ

大キイコトヲ以テ誇ト致シマス、是ハ大ナル誤リデアル、俺ノ方ノ契約高ハ是々ダ、俺ノ方ノ契約高ハ是タダト云ウテ、契約高ヲ殖ヤスガ爲ニ無茶苦茶ナ會員マデ入レテシマフ、サウシテ契約高ヲ高メテ、局長ノスルト同様ニ、契約高ノ大キイノヲ以テ一つノ信用ト無盡會社ノ信用トスルト云フコトニ躍起トナツテ、ソレバカリノ爲ニ勵イテ居ル、ソレハイカヌコトデアル、サウ云フ會社ハ庶民金融機關デヤナイ、一口デ三千圓、五千圓、一万圓ト云フ大キナ無盡ヲ持エテ、ソレヲ組立テ行クト云フト、契約高ハドンヽ上ヅテ行ク、ソレガ實際ニドウヤツテ居ルモノガナンデモ二ツバカリアルト思ヒマス、ソレカラ十年ト云フヤウナ長イ年期デ一万圓ト云フモノヲ積ムノガアル、サウスルト五年デアッタラ五千圓、サウ云フ風ナ譯デ、一時ニ契約高ヲドンヽ上ゲテシマッテ、會社ノ看板ニスル爲ニ契約高ヲ上げルト云フコトダケニ努力シテ居ル、是デハ益ハアリマセヌ、サウ云フ風ナコトデ澤山弊害ノ出來タモノモアリマス、私ハ實際無盡ノ使命ト云フモノハ、大キナ

ノ金ヲ十人ニ貸シテ、庶民階級ヲ救ウテ行
クコトガ眞ノ無盡ノ使命デアッテ、五千圓、
一万圓ト云フ資金ヲ貸シテ行クノハ他ニ機
關ガアルノデアリマス、デスカラシテ無盡
會社ノ實際ノ成績ヲ見マスニハ、善良ナル
會員數ノ多イト云フコトニ主眼ヲ置イテ、
契約高ノ高イト云フコトハ見ル必要ハナ
イ、大藏省モ御承知デハアリマセウガ、今
日マデ潰レテモウ手ノ付ケヤウガナイ無盡
會社ハドウデアルカト云フト、皆此筆法デ
契約高ヲ高メヨウ高メヨウトシテ、其競爭
ノ結果ガ結局其無盡會社ガ倒レテシマッテ、
積立ヲシタ會員ニ迷惑ヲ掛ケテ、無盡會社
ト云フモノハ憎ムベキモノデアルト云フ評
判ヲ立テ、居ル、先程カラ申シマスル會社
ノ不始末ニ付キマシテハ——斯ウ云フ會社
ハ餘計ハアリマセヌ、極メテ少數デアリマ
スルガ、是ハ大キナ會社ニ多イト云フコト
ハ事實デアリマシテ、斯ウ云フコトヲ一々
膺憲シテ行キマシテ、將來收拾ノ出來ヌヤ
ウナコトニナッテモイケマセヌカラ、今ノ内
ニ何カノ方法ヲ採ツテ、大藏省ノ方デ御取
締ノ御方針ヲ立て、戴キタイト思ヒマスル
ガ、之ニ對スル御意見ヲ承リマス

○入間野政府委員 親ノ心ラ子知ラズト申
シマセウカ、如何ナル世界ニモ斯ノ如キ不

心得者ノアリマスルコトハ洵ニ遺憾デアリ
マス、只今御示シニナリマシタ無盡會社ノ
募集員中、不正ノ行爲ヲヤッテ私利ヲ圖ッテ
居リマス者ガアリ、ソレヲ而モ無盡會社ノ
重役デスラ知ラナイト云フヤウナコトノア
リマスルコトハ、庶民金融機關トシテノ無
盡會社ノ爲ニ、洵ニ憂フベキコトデアルト
存ジマス、大藏省ノ検査等ニ於キマシテモ、
斯ノ如キコトハ努メテ之ヲ調査シテ、嚴重
ニ戒告スルヤウニ致シタイト心掛ケテ居リマ
スルガ、會社重役等ニ於キマシテモ、十分
分ラナイヤウナコトデアリマスルノデ、中々
検査ノ際ニ發見スルコトハ困難デアリマ
ス、併ナガラ無盡會社ガ庶民金融機關ニシ
テ將來堅實ナル發展ヲ致シマスルガ爲ニハ、
斯ノ如キモノヲ嚴重ニ取締ルコトガ必要デ
アラウト考ヘマス、大藏省ニ於キマシテモ
ハ事實デアリマシテ、斯ウ云フコトヲ一々
膺憲シテ行キマシテ、將來收拾ノ出來ヌヤ
ウナコトニナッテモイケマセヌカラ、今ノ内
ニ何カノ方法ヲ採ツテ、大藏省ノ方デ御取
締ノ御方針ヲ立て、戴キタイト思ヒマスル
ガ、之ニ對スル御意見ヲ承リマス

○入間野政府委員 親ノ心ラ子知ラズト申
シマセウカ、如何ナル世界ニモ斯ノ如キ不

心得者ノアリマスルコトハ洵ニ遺憾デアリ
マス、只今御示シニナリマシタ無盡會社ノ
募集員中、不正ノ行爲ヲヤッテ私利ヲ圖ッテ
居リマス者ガアリ、ソレヲ而モ無盡會社ノ
重役デスラ知ラナイト云フヤウナコトノア
リマスルコトハ、庶民金融機關トシテノ無
盡會社ノ爲ニ、洵ニ憂フベキコトデアルト
存ジマス、大藏省ノ検査等ニ於キマシテモ、
斯ノ如キコトハ努メテ之ヲ調査シテ、嚴重
ニ戒告スルヤウニ致シタイト心掛ケテ居リマ
スルガ、會社重役等ニ於キマシテモ、十分
分ラナイヤウナコトデアリマスルノデ、中々
検査ノ際ニ發見スルコトハ困難デアリマ
ス、併ナガラ無盡會社ガ庶民金融機關ニシ
テ將來堅實ナル發展ヲ致シマスルガ爲ニハ、
斯ノ如キモノヲ嚴重ニ取締ルコトガ必要デ
アラウト考ヘマス、大藏省ニ於キマシテモ
ハ事實デアリマシテ、斯ウ云フコトヲ一々
膺憲シテ行キマシテ、將來收拾ノ出來ヌヤ
ウナコトニナッテモイケマセヌカラ、今ノ内
ニ何カノ方法ヲ採ツテ、大藏省ノ方デ御取
締ノ御方針ヲ立て、戴キタイト思ヒマスル
ガ、之ニ對スル御意見ヲ承リマス

○入間野政府委員 親ノ心ラ子知ラズト申
シマセウカ、如何ナル世界ニモ斯ノ如キ不

心得者ノアリマスルコトハ洵ニ遺憾デアリ
マス、只今御示シニナリマシタ無盡會社ノ
募集員中、不正ノ行爲ヲヤッテ私利ヲ圖ッテ
居リマス者ガアリ、ソレヲ而モ無盡會社ノ
重役デスラ知ラナイト云フヤウナコトノア
リマスルコトハ、庶民金融機關トシテノ無
盡會社ノ爲ニ、洵ニ憂フベキコトデアルト
存ジマス、大藏省ノ検査等ニ於キマシテモ、
斯ノ如キコトハ努メテ之ヲ調査シテ、嚴重
ニ戒告スルヤウニ致シタイト心掛ケテ居リマ
スルガ、會社重役等ニ於キマシテモ、十分
分ラナイヤウナコトデアリマスルノデ、中々
検査ノ際ニ發見スルコトハ困難デアリマ
ス、併ナガラ無盡會社ガ庶民金融機關ニシ
テ將來堅實ナル發展ヲ致シマスルガ爲ニハ、
斯ノ如キモノヲ嚴重ニ取締ルコトガ必要デ
アラウト考ヘマス、大藏省ニ於キマシテモ
ハ事實デアリマシテ、斯ウ云フコトヲ一々
膺憲シテ行キマシテ、將來收拾ノ出來ヌヤ
ウナコトニナッテモイケマセヌカラ、今ノ内
ニ何カノ方法ヲ採ツテ、大藏省ノ方デ御取
締ノ御方針ヲ立て、戴キタイト思ヒマスル
ガ、之ニ對スル御意見ヲ承リマス

○入間野政府委員 親ノ心ラ子知ラズト申
シマセウカ、如何ナル世界ニモ斯ノ如キ不

心得者ノアリマスルコトハ洵ニ遺憾デアリ
マス、只今御示シニナリマシタ無盡會社ノ
募集員中、不正ノ行爲ヲヤッテ私利ヲ圖ッテ
居リマス者ガアリ、ソレヲ而モ無盡會社ノ
重役デスラ知ラナイト云フヤウナコトノア
リマスルコトハ、庶民金融機關トシテノ無
盡會社ノ爲ニ、洵ニ憂フベキコトデアルト
存ジマス、大藏省ノ検査等ニ於キマシテモ、
斯ノ如キコトハ努メテ之ヲ調査シテ、嚴重
ニ戒告スルヤウニ致シタイト心掛ケテ居リマ
スルガ、會社重役等ニ於キマシテモ、十分
分ラナイヤウナコトデアリマスルノデ、中々
検査ノ際ニ發見スルコトハ困難デアリマ
ス、併ナガラ無盡會社ガ庶民金融機關ニシ
テ將來堅實ナル發展ヲ致シマスルガ爲ニハ、
斯ノ如キモノヲ嚴重ニ取締ルコトガ必要デ
アラウト考ヘマス、大藏省ニ於キマシテモ
ハ事實デアリマシテ、斯ウ云フコトヲ一々
膺憲シテ行キマシテ、將來收拾ノ出來ヌヤ
ウナコトニナッテモイケマセヌカラ、今ノ内
ニ何カノ方法ヲ採ツテ、大藏省ノ方デ御取
締ノ御方針ヲ立て、戴キタイト思ヒマスル
ガ、之ニ對スル御意見ヲ承リマス

○入間野政府委員 親ノ心ラ子知ラズト申
シマセウカ、如何ナル世界ニモ斯ノ如キ不

ニ及ボスコトヲ手控ヘテ、主トシテ德義上
ノ問題ト云フ程度ニ止メテ居ツテ、而モソレ
ガ長年月ノ間ニハ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ル
ト云フ事例モ段々アルノデアリマスカラ、
其點モ柔カク手心ヲ加ヘテ戴キタイノデア
リマス

ソレカラ是ハ私ガ昨日私自身ニ於テモ豫
想外ニ深ク突進ンデ質問シタ所デアリマス
ガ、本日重ネテ高橋委員カラ同様ノ質問ガ
アリマシタ、即チ既存ノ金融機關ニ代行セ
シメテハ能率ガ上ラナイデハナイカ、本金
庫ノ目的ニ副ハヌ結果ニナルデハナイカト
云フ私ト同様ノ質問ガアリマシテ、而モ市
區町村等ニ取扱ハシテヘドウカト云フ同ジ
質問ガ重ネテ繰返サレタノデアリマス、其
時ニ當局ハ非常ニ堅イ確信ヲ持ツテ、強イ言
葉ヲ以テ經驗アル金融機關ニ取扱ハス方ガ
宜イト云フ鞏固ナル意思表示ヲナサッタノ
デアリマス、此點ハ私ハ返ス返スモ此金庫
ノ將來ノ爲ニ豫期シナイ結果ニナルノデハ
ナイカト云フコトヲ重ネテ憂ヘルモノデア
リマス、ソレデハ本當ニ庶民金庫ノ恩典ニ
與ラウツル所ノ俸給生活者、勞働階級、
小農民、漁村民竝ニ小サイ商工業者、サウ
云フヤウナ人々ノ所ヘハ實際ハ金融ノ手ガ

廻ラナイ結果ニナルデアラウコトヲ憂フル
ノデアリマス、併シ當局ハ兎ニ角今相當ナ
決意ヲ以テ所信ニ向ツテ邁進シヨウト云フ
續ケルトシテモ無駄カト考ヘマスガ、暫ク
ヤツテ戴キマスレバ、成程ト云フコトガ分ル、
併シ私尙ホ注意シテ置キマス、資本金ガ非常
ニ僅カデアリマス、債券ヲ發行シマシタ
所デ一億一千万圓デアリマス、是ハ全部ヲ
貸出致シマシタ所デ、結局燒石ニ水ノ程度
ニナル、ソコデ實際ハ此貸付金ト云フモノ
ハ、豫定ノ成績ハ或ハ學ガルカモ知レマセ
レガ本當ニ此金庫ガ最初對象トシタ所ヘ其
金融ガ行ハレテ居ルカドウカト云フコトハ、
是ハ疑問デアリマス、其點ニ將來深イ注意
ヲ拂ツテ貴ハナケレバナラナイ、唯回収不能
ニナツテハ困ルト云フ、此回収ト云フコトヲ
相當確實ニヤッテ行キタイト云フ方針デ經
營セラレルト云フ方針ヲ承リマシテ、ヤハ
リ資金ノ少イコトデアリマスカラ、此既設
金融機關ダケニ代行セシムルト云フ、是ノ
三者ガ合體致シマシテモ、結局本當ニ擔保
ヲ持タナイ、サウンテ此金融機關ノ設置ヲ
望ンデ已マナイ所ノ階級ノ方へ金融ノ手ガ
來ナイデ、モウ少し高イ所デ既ニ其金ガ使

云フコトヲ私ハ豫想シテ、憂ヘテ居ルモノ
デアリマス、サウ云フ點ニ付テモ深イ注意
ヲ拂ツテ置イテ戴キタインノデアリマス
ソレカラ市區町村役場等ニハ取扱ラドウ
シテモサセラレナイヤウナ御方針ヲ聽イタ
ノデアリマスガ、併シ府縣デアルトカ、市
區町村ガ、此庶民金庫設立要綱ノ第六ノ本
金庫ノ機能ノ中ノ第二第三ニ舉ゲラレテ居
リマス所ノ事柄ヲヤリマス時ニ、政府ハ同
様ニ此處ニハ「金融機關ガ」ト云フ風ニダケ書
イテアルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ
ハ、ヤハリ利便ヲ與ヘテ戴クノデアリマセ
ウカ、飽マデモ是ハ金融機關ニダケシカ適
用シナイデセウカ、伺ッテ置キタイト思ヒマ
ス

○入間野政府委員 庶民金庫ノ代行機關ヲ、
市區町村等ニモヤラシタラ宜イヂヤナイカ
ト云フ高橋委員竝ニ只今ノ塚本委員ノ御說
ニ對シマシテハ、御意見トシテ謹ンデ拜聽
致シテ置キマス、尙ホ第十七條二號三號ノ
金融機關ト云フ中ニ府縣其他ノ團體ガ庶民
金庫ト同ジヤウナ資金ノ貸付ヲスル場合ニ
ハ、ソレニ融通スルノカ、或ハ又損失補償
スルノカト云フ御尋ニアリマスルガ、ソレ
ハ庶民金庫法第三條ニ掲ゲテ居リマスヤウ

○入間野政府委員

一言注意ヲ加ヘテ私ノ質問ヲ終リマス

○前田委員長 是ニテ恩給金庫法案、恩給

法中改正法律案、庶民金庫法案、無盡業法
中改正法律案ノ質疑ヲ打切り、討論ヲ行ヒ、探
決致シタイト存ジマス、御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○前田委員長 御異議ナシト認メマス、仍

テ討論ヲ行ヒマス——坂東君

○坂東委員 恩給金庫法案以下四件ニ對ス
ル質疑應答モ終了致シマシタノデ、私ハ此
四案ニ對シマシテ意見ヲ陳述スルコトニ致
シマス

先づ第一ニハ恩給金庫法案並ニ恩給法中
改正法律案ニ關シマシテ、修正竝ニ附帶決
議ヲ朗讀致シマス

恩給金庫法第二條第二項ヲ以下ノ如ク修
正致シマス

恩給金庫ハ主務大臣ノ認下ヲ受ケ必要ノ

地ニ從タル事務所ヲ設置シ又ハ官廳其ノ
他ノ機關ニ其ノ業務ノ執行ニ關スル事務

ノ一部ノ取扱ヲ委託スルコトヲ得

恩給金庫法中第十五條第二項ヲ第三項ト
シ、同項中「五年」ヲ「三年」ニ「三年」ヲ
「二年」ニ改ム

同ジク

第十五條第二項、恩給金庫ヲ監督スル官

廳ノ官吏タリシ者其ノ職ヲ退キタル後
五年間恩給金庫ノ理事長及監事トナ

ル事ヲ得ス但シ主務大臣ニ於テ特に必要
アリト認メタルトキハ此ノ限ニアラス

第二十五條第一項及第二項中但書ヲ削ル
ソレカラ次ニハ恩給法中改正法律案デアリ
マスガ、

附則第一條第二項ノ第十一條第二項ノ規
定ハ恩給金庫設立後三年間之ヲ適用セス

次ニハ附帶決議デアリマス

一、恩給金庫ノ本質ニ鑑ミ恩給金庫ノ經
營費ハ最少限度ヲ以テスヘシ

一、昭和十二年七月二十一日勅令第三百
六十號ニ依リ恩給證書ノ再交付ヲナサ

ムトスル場合ハ再交付申請人ノミナラ
ス其ノ關係人ニ付キ具ニ之ガ實情ヲ調
査シ萬已ムヲ得サル者ニ限り之ヲナス。

恩給金庫法第二條第二項ヲ以下ノ如ク修
正致シマス

恩給金庫ハ主務大臣ノ認下ヲ受ケ必要ノ

地ニ從タル事務所ヲ設置シ又ハ官廳其ノ
他ノ機關ニ其ノ業務ノ執行ニ關スル事務

ノ一部ノ取扱ヲ委託スルコトヲ得

恩給金庫法中第十五條第二項ヲ第三項ト
シ、同項中「五年」ヲ「三年」ニ「三年」ヲ
「二年」ニ改ム

同ジク

第十五條第二項、恩給金庫ヲ監督スル官

トキハ此ノ限ニアラス

同ジク庶民金庫法ノ附帶決議

庶民金庫ノ貸付期限ハ三年以内ニ限定セ
ス特別ノ事情アル場合ハ之ヲ延長シ得ル

コトト爲スヘシ

次ニ無盡業法中改正法律案デアリマスガ、
之ニ關シマシテハ別ニ修正意見モナク、又

附帶決議モアリマセヌ、原案ニ賛成致シマ
ス

即チ以上要約致シマスレバ、恩給金庫法案

並ニ恩給法中改正法律案ノ二ツハ以上申述

ベマシク修正竝ニ附帶決議ヲ付ケマシテ是

モ原案ニ賛成デアリマス、以上意見ヲ陳述

致シマス、此意見ハ民政黨、政友會、第一

議員俱樂部並ニ社會大眾黨及び第二控室及

ビ東方會、一致ノ意見デアリマス

モ原案ニ賛成デアリマス、此點ニ付キマシテモ、政府ハソ

シテ、多數ノ傷病者ヲ出シタノデアリマス、
是等ノ人々ニ對シマシテハ、物質的ニ酬ユ

ル以上ニ、精神的ニ有ユル手段ヲ考究シテ、
思フノデアリマス、尙ホ今回事變ニ際シマ

シテ、多數ノ傷病者ヲ出シタノデアリマス、
是等ノ人々ニ對シマシテハ、物質的ニ酬ユ

多アルノデアリマス、尙ホ恩給ノ支給方法
ニ付キマシテハ、其間ニ不均衡ト認ムルヤ

ウナ點モ見受ケラレルノデアリマス、殊ニ
私考ヘマスノニ、恩給ト一概ニ申シマシテモ、
文官ノ恩給ト、サウシテ軍人ノ恩給トハ其

發生ノ原因ガ非常ニ違ツテ居ルノデアリマ
ス、斯ウ云フ點ハ將來ニ於テ、宜シク政府
トシテ考慮ヲセラレナケレバナラヌコトト
思フノデアリマス、尙ホ今回事變ニ際シマ

シテ、多數ノ傷病者ヲ出シタノデアリマス、
是等ノ人々ニ對シマシテハ、物質的ニ酬ユ

ル以上ニ、精神的ニ有ユル手段ヲ考究シテ、
思フノデアリマス、尙ホ今回事變ニ際シマ

ニ、信用組合或ハ軍人後援會其他ノ一般金融業者ガ脱法行爲トハ知リナガラモ、其間ノ已ムヲ得ナイ事情ノ爲ニ、金融ノ途ヲ講ジテ居ツタノデアリマス、是ハ恩給金庫法ト云フ機關ガ無カツタ爲メデ、已ムヲ得ザルコトト私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ今回此金庫法ガ出来マシテ、將來ハ斯ノ如キ機關ヲ利用スルコトモ少クナルコトトハ存ジマスガ、今マデ是等ノ機關ガ金融界ノ上ニ非常ニ役立ツテ居ルト云フコトヲ考ヘマシテ、又惡質ナ者ハ宜シク是ハ中止シナケレバナラヌガ、先般政府委員ノ御説明ニナリマシタ通り、從來斯ウ云フ風ナ機關トシテ活躍致シテ居ツタ信用アル金融機關ニ對シテハ、將來ニ於テモ此金庫法ノ目的ニ副フ事業ニ對シテ、一部ヲ代行セシムルト云フコトモ適當ナコトト考ヘルノデアリマスカラ、圓満ナル解決ヲ爲スト共ニ、又是等ノ機關ノ活躍ノ餘地ヲ與ヘテヤルト云フコトモ必要ト思フノデアリマス、唯徒ラニ是等ノ機關ニ彈壓ヲ加ヘテ、恩給金庫ノ事務ノ多キコトヲ望ムガ爲ニ、其他ノ金融機關ニ對シテ彈壓ヲ加ヘルト云フヤウナコトヲ特ニ私ハ注意シテ戴キタイコトヲ希望スルノデアリマス、又恩給金庫ヲ利用スル多數ノ人々ハ、全國ニ亘ツテ散在シテ居リ、殊ニ此事變ノ結

果ト致シマシテハ、地方ニモ却テ多數ニ散
在スルコトト考ヘルノデアリマス、サウ云
フ結果カラ一般ニ之ヲ利用スルノニ、不便、
不自由ヲ感ゼシメナイヤウニ、萬般ノ處置
ヲ講ジテ戴キタイコトヲ附加ヘテ御願スル
次第デアリマス

○松田委員　自分ハ此無盡業法ノ改正ハ別
トシテ、庶民金庫ハ坂東君ノ先程申上ゲラ
レタル如ク賛成ヲ致ス者アリマス、無盡
業法ニ付テノ意見ハ一寸附ケテ置キタイト
思ヒマスガ、是ハ三項ニ亘テノ改正ニアリ
マシテ、資本ノ拂込ヲ殖ヤスコト、ソレカ
ラ貸付ノ金ノ高ヲ上ゲルコト、ソレカラ合
併ノ時ノ手續ヲ簡易ニスルコト、此三ツニ
ナル、先程カラ申サレマスル如ク無盡業法
ヲ改正スルナラバ、此以外ニ澤山アリマス、
是ハ先程カラノ質問ニ依ッテ速記録ヲ見テ

社ヲ許サナイヤウニ御願致シタイト云フ希望ヲ致シテ置キマス、ソレデ無修正デ賛成ヲ致シマス
ソレカラ庶民金庫ノ方ニ付キマシテハ、今モ申サレマシタ如ク、資本ガ少イ、全クノ效果ハ上ラヌカモ知レマセヌガ、之ヲ試ミトシテヤツテ戴キマシテ、是ガ希望者ガ多ク、其結果ニ於テ宜イト云フコトニナックナラバ、大々的ニ之ニ向ツテ力ヲ注ガレンコトヲ希望致シマシテ、贊成ヲ表シタイノデアリマス

イト云フコトニナルノデアリマス、所謂聖澤ノ普遍化ト申シマスルカ、斯ウ云フ機關が出來タ以上ハ、出來得ルダケ有ニル階級ニ利用サセルト云フ此精神ニ基イテ、利用ノ簡易化ヲスルヤウニ考ヘテ戴キタイト思ヒマス、其一方法ト致シマシテハ、此代行機關モ先日來色々各委員ヨリ述ベラレテアリマスルガ、誤ノナイ限り便利ノ爲ニ廣ク利用スル代行機關ヲ殖ヤシテ戴キタイト云フコトヲ切ニ御願致シタイト思フノデアリマス、以上ノ希望ヲ附加ヘマシテ、只今坂本委員ヨリ御發議ニナリマシタ全部ニ對シテ贊成ヲ致ス者デアリマス

末尾ノ合併デゴザイマス、合併ハ斯クナル
以上ハ時代ノ趨勢ニ鑑ミテ合併ヲ進メテ行ツ
タ方ガ宜イカト思フ、サウシテ大キナモノ
ヲ作ツテ細カク出張所、支店ヲ作ツテ、其地
方地方ノ民情ニ即シタル所謂庶民金融機關
トシテ無盡ガ生キテ行クト云フコトニスル
コトガ便利デアラウト思ハレル、進ンデ合
併ヲ吾々ハ致シタイト思ウテ居リマスガ、
但シ此合併ヲ進メテ居ル途中ニ、新シイ會
社ガドンヽヽ許サレテ來ルコトニナルト、
是ハマルッキリ此改正法ガ希望致シテ居ル
ノ方デハ此合併ヲ一段落シ、又資本ノ拂込
ノ増額ヲ一段落スルマデ、成ベク新シイ會

○江藤委員 私ハ恩給金庫法案外三案ニ付キ、第一議員俱樂部ヲ代表シテ若干ノ所信ヲ述べ恩給法中改正法律案ニ付テハ若干ノ希望條項ヲ附シ、只今坂東委員ヨリ發言セラレマシタコトニ付テ、贊成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、恩給金庫法案ハ貸付及び配當利子高キニ過ギ、且ツ業務運用上尙ホ改善ヲ要スル點ガアルト思フノデアリマスルガ、本案ハ社會生活ノ實情ニ鑑ミマシテ、多年ノ懸案デアリマシタ恩給擔保ノ脫法的金融ノ大ナル弊害ヲ除去シ、恩給受給者、殊ニ老齢又ハ重症ノ傷痍軍人ノ福利増進ニ寄與スルコトガ少クナイト思フノデアリマスルカラ、本修正案ニ賛成ノ意ヲ表スル次

前田委員長

江藤源九郎君

第六類第七號 恩給金庫法案外一件委員會議錄

第十三回 昭和十三年三月八日

○松田委員　自分ハ此無盡業法ノ改正ハ別
トシテ、庶民金庫ハ坂東君ノ先程申上ゲラ
レタル如ク贊成ヲ致ス者デアリマス、無盡
業法ニ付テノ意見ハ一寸附ケテ置キタイト
思ヒマスガ、是ハ三項ニ亘ツテノ改正デアリ
マシテ、資本ノ拂込ヲ殖ヤスコト、ソレカラ合
ラ貸付ノ金ノ高ヲ上ゲルコト、ソレカラ合
併ノ時ノ手續ヲ簡易ニスルコト、此三ツニ
ナル、先程カラ申サレマスル如ク無盡業法
ヲ改正スルナラバ、此以外ニ澤山アリマス、
是ハ先程カラノ質問ニ依ツテ速記録ヲ見テ
置イテ戴キタイ次第デアリマスガ、此一番
末尾ノ合併デゴザイマス、合併ハ斯クナル
以上ハ時代ノ趨勢ニ鑑ミテ合併ヲ進メテ行ッ
タ方ガ宜イカト思フ、サウシテ大キナモノノ
ヲ作ツテ細カク出張所、支店ヲ作ツテ、其地
方地方ノ民情ニ即シタル所謂庶民金融機關
トシテ無盡ガ生キテ行クト云フコトニスル
コトガ便利デアラウト思ハレル、進ンデ合
併ヲ普々ハ致シタイト思ウテ居リマスガ、
但シ此合併ヲ進メテ居ル途中ニ、新シイ會
社ガドン／＼許サレテ來ルコトニナルト、
是ハマルクキリ此改正法ガ希望致シテ居ル
コトヲ裏切ツテ來ルコトニナリマス、大藏省
ノ方デハ此合併ヲ一段落シ、又資本ノ拂込

社ヲ許サナイヤウニ御願致シタイト云フ希望ヲ致シテ置キマス、ソレデ無修正デ賛成ヲ致シマス
ソレカラ庶民金庫ノ方ニ付キマシテハ、今モ申サレマシタ如ク、資本ガ少イ、全クノ效果ハ上ラヌカモ知レマセヌガ、之ヲ試ミトシテヤツテ戴キマシテ、是ガ希望者ガ多ク、其結果ニ於テ宜イト云フコトニナックナラバ、大々的ニ之ニ向シテ力ヲ注ガレンコトヲ希望致シマシテ、賛成ヲ表シタイノデアリマス

○前田委員長 江藤源九郎君

○江藤委員 私ハ恩給金庫法案外三案ニ付キ、第一議員俱樂部ヲ代表シテ若干ノ所信ヲ述べ恩給法中改正法律案ニ付テハ若干ノ希望條項ヲ附シ、只今坂東委員ヨリ發言セラレマンシタコトニ付テ、賛成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、恩給金庫法案ハ貸付及び配當利子高キニ過ギ、且ツ業務運用上尙ホ改善ヲ要スル點ガアルト思フノデアリマスルガ、本案ハ社會生活ノ實情ニ鑑ミマシテ、多年ノ懸案デアリマシタ恩給擔保ノ脫法的金融ノ大ナル弊害ヲ除去シ、恩給受給者、殊ニ老齢又ハ重症ノ傷痍軍人ノ福利増進ニ寄與スルコトガ少クナイト思フノデアリマスルカラ、本修正案ニ賛成ノ意ヲ表スル次

第デアリマス

又恩給法中改正法律案ハ同僚及ビ私カラ

屢々質問致シマシタ通リニ、本改正ノ趣旨ハ洵ニ同感デアリマスルガ、其實質ニ於テ未ダ

十分ナラザル點ガアルノデアリマス、殊ニ戰傷公病死者竝ニ重症傷痍軍人ノ遺族扶助

料、重症傷痍軍人ノ增加恩給及ビ目症ニ對スル賜金等ハ増額ノ必要ヲ痛感スルノデア

リマス、而シテ本法案ハ其性質上軍部大臣ノ所信ヲ確メルコトガ最モ緊要デアルト思ヒマシテ、同大臣ノ出席ヲ度々要求シタノデアリマスルガ、色々ノ事情デ出席ガ困難デアッタ云フコトハ諒ト致シマスルガ、遂ニ一回モ出席セラレマセズ、單ニ政務官ヲ通ジテ本改正案ニ満足シテ居ルト云フコトノ御發言ガアリマシタコトハ、洵ニ遺憾ニ思フノデアリマス、又賀屋大藏大臣ハ我ガ財力ハ百億ヤ二百億ノ軍費ニ驚クモノデハナイト豪語セラレタニ拘リマセズ、戰爭ノ犠牲トナツタ遺族及ビ傷痍軍人ノ優遇ニ要スル一部經費ノ増額ヲ爲シ能ハザルハ何故デアリマセウカ、私ガ只今指摘致シマシタヤウナ缺陷ヲ是正セラレマセナカッタナラバ、憂ヲ將來ニ貽スペキコトヲ惧レルノデアリマス、併ナガラ一方ニ於キマシテハ、本改正案ニ依リマシテ、從來長年解決

ガ出來ナカッタ大正十二年恩給法改正以前

ノ傷痍軍人ノ寡婦ニ對スル遺族扶助料問題等ノ解決ヲ見、且ツ其他ノ案件ニ付キマシ

テモ、或ル程度ノ改善ガ行ハレマシタコトハ、

遺族及ビ傷痍軍人ニ對スル政府ノ誠意ヲ認メルコトガ出來ルト思フノデアリマス、故ニ私ハ時局ニ鑑ミ次ノ如キ希望條項ヲ付シ

修正案ニ賛成ノ意ヲ表シマス

庶民金庫法案及ビ無盡業法中改正法律案ハ、社會生活ノ實情ニ鑑ミ沟ニ適切ナル法案ト考ヘマスガ、其實施ニ付テハ、本法ノ目的ニ副フ如ク十分ナル留意ヲ希望シ原案ニ贊成ヲ致シマス

○塚本委員 塚本重藏君

○塚本委員 私ハ坂東幸太郎委員ノ發言ニ依リマスル即チ各派協調ノ上ニ成リマシタ

修正事項竝ニ附帶ノ決議ヲ付シテ賛成スルト共ニ、尙ホ社會大衆黨ヲ代表シマシテ、二三ノ希望ヲ述べテ贊意ヲ表シタイト思フ

ノデアリマス、先づ第一ニ恩給法ノ改正ニ對シマシテハ、只今江藤委員カラ御述ニナリマシタ事柄ノ全部ニ同意ヲ表スル者デア

一、戰傷公病死者遺族扶助料ハ現下ノ實情ニ鑑ミ尙ホ若干ノ増額ヲナスベシ

一、特別第一第二項症傷痍軍人ノ增加恩給及同扶助料ハ重症者優遇ノ主旨ニ從ヒ尙ホ若干ノ増額ヲナスベシ

一、目症ニ對スル賜金額ハ他ノ權衡上若干ノ増額ヲナスベシ

一、戰地ニ於ケル公傷者ハ内地ニ於ケル公傷者ト區別シ前者ヲ優遇スルノ途ヲ開クベシ

一、昭和九年四月一日以前ニ傷病年金ヲ受クベキ事由ヲ生ジタル准士官以上ノ

者及症狀增進ノ故ヲ以テ目症ニ査定ヲ

受ケタル無償傷痍軍人ニ對シテモ其ノ

症狀ノ程度ニ從ヒ傷病年金又ハ賜金ヲ

給スルノ途ヲ開クベシ

以上デアリマス

○前田委員長 前田重藏君

○前田委員 私ハ坂東幸太郎委員ノ發言ニ依リマスル即チ各派協調ノ上ニ成リマシタ

修正事項竝ニ附帶ノ決議ヲ付シテ賛成スルト共ニ、尙ホ社會大衆黨ヲ代表シマシテ、二三ノ希望ヲ述べテ贊意ヲ表シタイト思フ

ノデアリマス、先づ第一ニ恩給法ノ改正ニ對シマシテハ、只今江藤委員カラ御述ニナリマシタ事柄ノ全部ニ同意ヲ表スル者デア

一、恩給金庫ノ貸付ハ努メテ利息ノ低下ヲ圖ルト共ニ其ノ手續ヲ簡便ニシ本法施行前ノ債務ノ借替ヲ容易ニ且ツ圓滑ナラシムベシ

一、本金融ノ趣旨ニ基キ弱體受給者ノ金融ニツキ遺憾ナキヲ期スベシ

一、本金融ノ趣旨ニ基キ弱體受給者ノ金融ニツキ遺憾ナキヲ期スベシ

一、本金融ノ趣旨ニ基キ弱體受給者ノ金融ニツキ遺憾ナキヲ期スベシ

一、本金融ノ趣旨ニ基キ弱體受給者ノ金融ニツキ遺憾ナキヲ期スベシ

一、本金融ノ趣旨ニ基キ弱體受給者ノ金融ニツキ遺憾ナキヲ期スベシ

一、政府ハ將來恩給法ノ根本的改正ヲ行

一、政府ハ將來恩給法ノ根本的改正ヲ行

一、政府ハ將來恩給法ノ根本的改正ヲ行

一、政府ハ將來恩給法ノ根本的改正ヲ行

一、政府ハ將來恩給法ノ根本的改正ヲ行

府當局ノ御述ニナツタ所デアリマスカラ、將來ヤハリ是ハモウ一度根本的ナ改正ヲ行ハ

ナケレバナラヌ事情ニアルノハ必然デアリマスト共ニ、今ノ一ツノ私共ノ希望ヲバ容

レテ是ガ改革ヲ期セラレンコトヲ切ニ希望シテ已マナイ者デアリマス

次ニ恩給金庫法ニ對シマシテ三ツノ希望ヲ付シテ置キマス

一、恩給金庫ノ貸付ハ努メテ利息ノ低下ヲ圖ルト共ニ其ノ手續ヲ簡便ニシ本法施行前ノ債務ノ借替ヲ容易ニ且ツ圓滑ナラシムベシ

無擔保デ此新シイ試ミヲ爲サレマシタコト

ニ對シマシテ、年來ノ吾々ノ希望ノ容レラ

レタコトニ對シテ欣快ヲ覺エルモノデアツテ、

マス、唯憾ムラクハ其資金ガ僅少デアツテ、

一般庶民階級ノ希望ヲ達シ得ナイ憾ミガア

ルコトデアリマスト共ニ、其利息ノ現下ノ

事情カラ見テ高キニ失スルノ憾ミガアルノ

デアリマス、ソコデ付ケタイ希望ト申シマ

スノハ

一、貸付ノ手續及調査ヲ簡便迅速ニスル

ト共ニ利子ノ低下ヲ期セラレムコトヲ

望ム

此簡單ナル一ツノ希望ヲ付シテ、庶民金庫

法案ニ對シテモ贊意ヲ表シマス

無盡業法中改正法律案ニ對シマシテハ、

無條件ヲ以テ贊成スル者デアリマス

○前田委員長 是ニテ討論ハ終結致シマシ

タ、是ヨリ採決ヲ致シマス、先ヅ恩給金庫

法案、恩給法中改正法律案、庶民金庫法案、

此三案ヲ一括シテ採擇ヲ致シマス、恩給金

庫法案、恩給法中改正法律案、庶民金庫法

案ニ對シマスル坂東幸太郎君提出ノ修正ニ

御異議アリマセヌカ
御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○前田委員長 異議ナシト認メマス、右三
案ニ付キソレハノ附帶決議ヲ含ミ、且ツ

修正ヲ除ク原案ノ、其他ノ部分ニ對シ御異

議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○前田委員長 異議ナシト認メマス、仍テ

三案ハ修正可決致シマシタ

無盡業法中改正法律案ニ付テ採決ヲ致シ
マス、原案ニ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○前田委員長 異議ナシト認メマス、原案

通り可決致シマシタ——諸君ノ連日ノ御精

勵ニ對シマシテ厚ク感謝ヲ致シマス、本日

ハ是ニテ散會致シマス(拍手)

午後五時五十三分散會

昭和十三年三月九日印刷

昭和十三年三月十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局